

◎包括的な経済上の連携に関する日本国及び東南アジア諸国連合構成国との間の協定

(略称) 日ASEAN包括的経済連携協定

平成二十年	三月二十八日	東京で署名
平成二十年	四月三日	バンドルスリブガワンで署名
平成二十年	四月七日	プノンペンで署名
平成二十年	三月三十一日	ジャカルタで署名
平成二十年	四月四日	ビエンチャンで署名
平成二十年	四月十四日	クアラルンプールで署名
平成二十年	四月十日	ネーピードで署名
平成二十年	四月二日	マニラで署名
平成二十年	三月二十六日	シンガポールで署名
平成二十年	四月十一日	バンコクで署名
平成二十年	四月一日	ハノイで署名
平成二十年	六月二十日	国会承認
平成二十年	十月二十一日	効力発生のための通告の閣議決定
平成二十年	十月二十二日	効力発生に必要な我が国の国内手続が完了した旨の通告
平成二十年	十月三十一日	公布(条約第十二号)
平成二十年	十月三十一日	告示(外務省告示第五百八十五号)
平成二十年十二月	一日	効力発生

目次

ページ

目次	一〇九
前文	一一四
第一章 総則	一一五
第一条 一般的定義	一一五
第二条 原則	一一六
第三条 目的	一一七
第四条 透明性	一一七
第五条 秘密性	一一八
第六条 租税	一一八
第七条 一般的例外	一一八
第八条 安全保障のための例外	一一八
第九条 非政府機関	一一九
第十条 他の協定との関係	一一九
第十一条 合同委員会	一二〇
第十二条 全締約国間の連絡	一二一
第二章 物品の貿易	一二一
第十三条 定義	一二一
第十四条 物品の分類	一二二
第十五条 内国の課税及び規則に関する内国民待遇	一二二
第十六条 関税の撤廃又は引下げ	一二三
第十七条 関税上の評価	一二三

第十八条	非関税措置	一二三
第十九条	譲許の修正	一二四
第二十条	セーフガード措置	一二四
第二十一条	国際収支の擁護のための措置	一三〇
第二十二条	税関手続	一三〇
第三章	原産地規則	一三〇
第二十三条	定義	一三〇
第二十四条	原産品	一三二
第二十五条	完全に得られ、又は生産される産品	一三三
第二十六条	完全には得られず、又は生産されない産品	一三四
第二十七条	域内原産割合の算定	一三五
第二十八条	僅少の非原産材料	一三七
第二十九条	累積	一三七
第三十条	原産資格を与えることとならない作業	一三八
第三十一条	直接積送	一三八
第三十二条	こん包材料及びこん包容器	一三九
第三十三条	附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料	一三九
第三十四条	間接材料	一三九
第三十五条	同一の又は交換可能な材料	一四〇
第三十六条	運用上の証明手続	一四〇
第三十七条	原産地規則に関する小委員会	一四一
第四章	衛生植物検疫措置	一四二

第三十八條	適用範圍	一四二
第三十九條	權利及び義務の再確認	一四二
第四十條	衛生植物檢疫措置に関する小委員会	一四二
第四十一條	照会所	一四三
第四十二條	第九章の規定の不適用	一四三
第五章	任意規格、強制規格及び適合性評価手続	一四三
第四十三條	目的	一四三
第四十四條	適用範圍	一四四
第四十五條	權利及び義務の再確認	一四四
第四十六條	協力	一四五
第四十七條	照会所	一四五
第四十八條	任意規格、強制規格及び適合性評価手続に関する小委員会	一四六
第四十九條	第九章の規定の不適用	一四七
第六章	サービスの貿易	一四七
第五十條	サービスの貿易	一四七
第七章	投資	一四八
第五十一條	投資	一四八
第八章	經濟的協力	一四八
第五十二條	基本原則	一四八
第五十三條	經濟的協力の分野	一四九
第五十四條	經濟的協力に関する小委員会	一四九
第五十五條	經濟的協力のための事業計画	一五〇

第五十六条	経済的協力のための資源	一五〇
第五十七条	経済的協力に関する活動の実施	一五〇
第五十八条	次章の規定の不適用	一五一
第九章	紛争解決	一五一
第五十九条	定義	一五一
第六十条	適用範囲	一五一
第六十一条	連絡部局	一五二
第六十二条	協議	一五三
第六十三条	あつせん、調停及び仲介	一五四
第六十四条	仲裁裁判所の設置	一五四
第六十五条	仲裁裁判所の構成	一五五
第六十六条	第三国	一五七
第六十七条	仲裁裁判所の任務	一五七
第六十八条	仲裁裁判手続	一五八
第六十九条	裁定案及び裁定	一六〇
第七十条	仲裁裁判手続の停止及び終了	一六一
第七十一条	裁定の実施	一六二
第七十二条	代償及び譲許の停止	一六三
第七十三条	費用	一六四
第十章	最終規定	一六四
第七十四条	目次、見出し及び小見出し	一六四
第七十五条	見直し	一六五

第七十六条 附属書及び注釈	一六五
第七十七条 改正	一六五
第七十八条 寄託者	一六六
第七十九条 効力発生	一六六
第八十条 脱退及び終了	一六七
末 文	一六七
附属書一 関税の撤廃又は引下げに関する表	一七〇
附属書二 品目別規則	一九九〇
附属書三 情報技術製品	二〇八七
附属書四 運用上の証明手続	二〇八八
附属書五 経済的協力のための事業計画	二〇九八

目次

包括的な経済上の連携に関する日本国及び東南アジア諸国連合構成国間の協定

目次

前文
第一章 総則
第一条 一般的定義
第二条 原則
第三条 目的
第四条 透明性
第五条 秘密性
第六条 租税
第七条 一般的例外
第八条 安全保障のための例外
第九条 非政府機関
第十条 他の協定との関係
第十一条 合同委員会
第十二条 全締約国間の連絡
第二章 物品の貿易
第十三条 定義
第十四条 物品の分類
第十五条 内国の課税及び規則に関する内国民待遇
第十六条 関税の撤廃又は引下げ
第十七条 関税上の評価
第十八条 非関税措置

AGREEMENT ON COMPREHENSIVE ECONOMIC PARTNERSHIP
AMONG JAPAN AND MEMBER STATES OF THE ASSOCIATION
OF SOUTHEAST ASIAN NATIONS

Table of Contents

Preamble	
Chapter 1	General Provisions
Article 1	General Definitions
Article 2	Principles
Article 3	Objectives
Article 4	Transparency
Article 5	Confidentiality
Article 6	Taxation
Article 7	General Exceptions
Article 8	Security Exceptions
Article 9	Non-governmental Bodies
Article 10	Relation to Other Agreements
Article 11	Joint Committee
Article 12	Communications
Chapter 2	Trade in Goods
Article 13	Definitions
Article 14	Classification of Goods
Article 15	National Treatment on Internal Taxation and Regulation
Article 16	Elimination or Reduction of Customs Duties
Article 17	Customs Valuation
Article 18	Non-tariff Measures

日ASEAN包括的経済連携協定

第十九条 譲許の修正

第二十条 セーフガード措置

第二十一条 国際収支の擁護のための措置

第二十二条 税関手続

第三章 原産地規則

第二十三条 定義

第二十四条 原産品

第二十五条 完全に得られ、又は生産される産品

第二十六条 完全には得られず、又は生産されない産品

第二十七条 域内原産割合の算定

第二十八条 僅少^{きう}の非原産材料

第二十九条 累積

第三十条 原産資格を与えることとならない作業

第三十一条 直接積送

第三十二条 こん包材料及びこん包容器

第三十三条 附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料

第三十四条 間接材料

第三十五条 同一の又は交換可能な材料

第三十六条 運用上の証明手続

第三十七条 原産地規則に関する小委員会

第四章 衛生植物検疫措置

第三十八条 適用範囲

第三十九条 権利及び義務の再確認

第四十条 衛生植物検疫措置に関する小委員会

Article 19	Modification of Concessions
Article 20	Safeguard Measures
Article 21	Measures to Safeguard the Balance of Payments
Article 22	Customs Procedures
Chapter 3	Rules of Origin
Article 23	Definitions
Article 24	Originating Goods
Article 25	Goods Wholly Obtained or Produced
Article 26	Goods Not Wholly Obtained or Produced
Article 27	Calculation of Regional Value Content
Article 28	De Minimis
Article 29	Accumulation
Article 30	Non-qualifying Operations
Article 31	Direct Consignment
Article 32	Packing Materials and Containers
Article 33	Accessories, Spare Parts, Tools and Instructional or Other Information Materials
Article 34	Indirect Materials
Article 35	Identical and Interchangeable Materials
Article 36	Operational Certification Procedures
Article 37	Sub-Committee on Rules of Origin
Chapter 4	Sanitary and Phytosanitary Measures
Article 38	Scope
Article 39	Reaffirmation of Rights and Obligations
Article 40	Sub-Committee on Sanitary and Phytosanitary Measures

第四十一条	照会所
第四十二条	第九章の規定の不適用
第五章	任意規格、強制規格及び適合性評価手続
第四十三条	目的
第四十四条	適用範囲
第四十五条	権利及び義務の再確認
第四十六条	協力
第四十七条	照会所
第四十八条	任意規格、強制規格及び適合性評価手続に関する小委員会
第四十九条	第九章の規定の不適用
第六章	サービスの貿易
第五十条	サービスの貿易
第七章	投資
第五十一条	投資
第八章	経済的協力
第五十二条	基本原則
第五十三条	経済的協力の分野
第五十四条	経済的協力に関する小委員会
第五十五条	経済的協力のための事業計画
第五十六条	経済的協力のための資源
第五十七条	経済的協力に関する活動の実施
第五十八条	次章の規定の不適用
第九章	紛争解決
第五十九条	定義

Article 41	Enquiry Points
Article 42	Non-application of Chapter 9
Chapter 5	Standards, Technical Regulations and Conformity Assessment Procedures
Article 43	Objectives
Article 44	Scope
Article 45	Reaffirmation of Rights and Obligations
Article 46	Cooperation
Article 47	Enquiry Points
Article 48	Sub-Committee on Standards, Technical Regulations and Conformity Assessment Procedures
Article 49	Non-application of Chapter 9
Chapter 6	Trade in Services
Article 50	Trade in Services
Chapter 7	Investment
Article 51	Investment
Chapter 8	Economic Cooperation
Article 52	Basic Principles
Article 53	Fields of Economic Cooperation
Article 54	Sub-Committee on Economic Cooperation
Article 55	Work Programmes for Economic Cooperation
Article 56	Resources for Economic Cooperation
Article 57	Implementation of Economic Cooperation Activities
Article 58	Non-application of Chapter 9
Chapter 9	Settlement of Disputes
Article 59	Definitions

日ASEAN包括的経済連携協定

第六十条	適用範囲
第六十一条	連絡部局
第六十二条	協議
第六十三条	あつせん、調停及び仲介
第六十四条	仲裁裁判所の設置
第六十五条	仲裁裁判所の構成
第六十六条	第三国
第六十七条	仲裁裁判所の任務
第六十八条	仲裁裁判手続
第六十九条	裁定案及び裁定
第七十条	仲裁裁判手続の停止及び終了
第七十一条	裁定の実施
第七十二条	代償及び譲許の停止
第七十三条	費用
第十章	最終規定
第七十四条	目次、見出し及び小見出し
第七十五条	見直し
第七十六条	附属書及び注釈
第七十七条	改正
第七十八条	寄託者
第七十九条	効力発生
第八十条	脱退及び終了
附属書一	関税の撤廃又は引下げに関する表
附属書二	品目別規則

Article 60	Scope of Application
Article 61	Contact Points
Article 62	Consultations
Article 63	Good Offices, Conciliation and Mediation
Article 64	Establishment of Arbitral Tribunals
Article 65	Composition of Arbitral Tribunals
Article 66	Third Parties
Article 67	Functions of Arbitral Tribunals
Article 68	Proceedings of Arbitral Tribunals
Article 69	Draft Award and Award
Article 70	Suspension and Termination of Proceedings
Article 71	Implementation of Award
Article 72	Compensation and the Suspension of Concessions
Article 73	Expenses
Chapter 10	Final Provisions
Article 74	Table of Contents, Headings and Subheadings
Article 75	Review
Article 76	Annexes and Notes
Article 77	Amendments
Article 78	Depositary
Article 79	Entry into Force
Article 80	Withdrawal and Termination
Annex 1	Schedules for the Elimination or Reduction of Customs Duties
Annex 2	Product Specific Rules

附屬書三 情報技術製品
 附屬書四 運用上の証明手続
 附屬書五 経済的協力のための事業計画

Annex 3 Information Technology Products
 Annex 4 Operational Certification Procedures
 Annex 5 Work Programmes for Economic Cooperation

日ASEAN包括的経済連携協定

前文

日本国並びに東南アジア諸国連合（以下「ASEAN」という。）構成国であるブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、シヤンマー連邦、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の政府は、

二千二年十一月五日にカンボジアのプノンペンで署名された共同宣言及び二千三年十月八日にインドネシアのバリで署名された日本国と東南アジア諸国連合との間の包括的な経済上の連携の枠組みを想起し、

政治的及び経済的な分野のみならず社会的及び文化的な分野をも含む広範な分野において、相互の信頼及び信用に基づく日本国とASEANとの間の関係を深化することを希望し、

日本国及び全ASEAN構成国の間の経済活動を通じてASEANの継続的發展並びに三十年間に広範な分野において経済的なきずなを拡大してきた日本国とASEANとの間の関係における著しい進展に動かれ、

日本国とASEANとの間の包括的な経済上の連携（以下「AJCEP」という。）が、相互の利益のため、日本国とASEANとの間の経済的なきずなを強化し、より多くの機会及びより大きな規模の経済を実現するようなより大きく、かつ、より効率的な市場を創出し、並びに資本及び人材に対する日本国及びASEANの魅力を高めることを確信し、

日本国及び全ASEAN構成国の間の経済関係の強化に向けた多層的な、かつ、多面的な二国間の及び地域的な努力が、このような包括的な経済上の連携の表現を円滑にすることを認識し、

このような包括的な経済上の連携が、ASEANの経済的な統合及び一体性から利益を得るべきであり、並びにそれらを補完するものであるべきであるとひとしく認め、

さらに、全ASEAN構成国の間における経済開発の様々な段階を認識し、

一 一 四

Preamble

The Governments of Japan, and Brunei Darussalam, the Kingdom of Cambodia, the Republic of Indonesia, the Lao People's Democratic Republic, Malaysia, the Union of Myanmar, the Republic of the Philippines, the Republic of Singapore, the Kingdom of Thailand and the Socialist Republic of Viet Nam, Member States of the Association of Southeast Asian Nations (hereinafter referred to as "ASEAN");

Recalling the Joint Declaration signed in Phnom Penh, Cambodia on 5 November 2002 and the Framework for Comprehensive Economic Partnership between Japan and the Association of Southeast Asian Nations signed in Bali, Indonesia on 8 October 2003;

Desiring to deepen the relationship between Japan and ASEAN, which is built on mutual confidence and trust in wide-ranging fields covering not only political and economic areas, but also social and cultural areas;

Inspired by the continuous development of ASEAN through economic activities among Japan and ASEAN Member States, and the significant progress in the relationship between Japan and ASEAN which has spanned thirty years of economic ties that have been expanding over a wide range of areas;

Confident that a comprehensive economic partnership between Japan and ASEAN (hereinafter referred to as "AJCEP") will strengthen their economic ties, create a larger and more efficient market with greater opportunities and larger economies of scale, and enhance their attractiveness to capital and talent, for mutual benefit;

Recognising that multi-layered and multi-faceted bilateral and regional efforts towards strengthening economic relations among Japan and ASEAN Member States will facilitate the realisation of such comprehensive economic partnership;

Sharing the view that such comprehensive economic partnership should benefit from, and be complementary to, the economic integration and integrity of ASEAN;

Recognising further the various stages of economic development among the ASEAN Member States;

総 則
一般的定義

物品及びサービスの貿易並びに投資等の分野を含むこの協定が、東アジアにおける経済的な統合に向けた重要な基礎となることを確信し、

千九百九十四年四月十五日にマラケシュで作成された世界貿易機関を設立するマラケシュ協定（以下「世界貿易機関設立協定」という。）の附属書一 A 千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第二十四条及び附属書一 B サービスの貿易に関する一般協定第五条を想起し、

多角的貿易体制の枠組みにおいて地域的及び国際的な自由化を加速する触媒としての地域的な貿易協定の役割を認識し、

世界貿易機関設立協定並びに多数国間の、地域的な及び二国間の協定及び取決めに基く各締約国の権利及び義務を再確認し、

全締約国間でこのような包括的な経済上の連携のための法的枠組みを設定することを決意して、

次のとおり協定した。

第一章 総則

第一条 一般的定義

この協定の適用上、

(a) 「ASEAN 構成国」とは、ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー連邦、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国を総称するという。

(b) 「税関当局」とは、関税に関する法令の運用及び執行について責任を負う権限のある当局をいう。

(c) 「日」とは、暦日をいい、週末及び休日を含む。

(d) 「サービス貿易一般協定」とは、世界貿易機関設立協定附属書一 B サービスの貿易に関する一般協定をいう。

日ASEAN 包括的経済連携協定

Confident that this Agreement, covering areas such as trade in goods and services, and investment, would serve as an important building block towards economic integration in East Asia;

Recalling Article XXIV of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 and Article V of the General Agreement on Trade in Services in Annex 1A and Annex 1B, respectively, to the Marrakesh Agreement Establishing the World Trade Organization, done at Marrakesh, 15 April 1994 (hereinafter referred to as "WTO Agreement");

Recognising the role of regional trade agreements as a catalyst in accelerating regional and global liberalisation in the framework of the multilateral trading system;

Reaffirming the rights and obligations of each Party under the WTO Agreement and multilateral, regional and bilateral agreements and arrangements; and

Determined to establish a legal framework for such comprehensive economic partnership among the Parties,

HAVE AGREED as follows:

Chapter 1
General Provisions

Article 1
General Definitions

For the purposes of this Agreement, the term:

(a) "ASEAN Member States" means Brunei Darussalam, the Kingdom of Cambodia, the Republic of Indonesia, the Lao People's Democratic Republic, Malaysia, the Union of Myanmar, the Republic of the Philippines, the Republic of Singapore, the Kingdom of Thailand and the Socialist Republic of Viet Nam collectively;

(b) "customs authority" means the competent authority that is responsible for the administration and enforcement of customs laws and regulations;

(c) "days" means calendar days, including weekends and holidays;

(d) "GATS" means the General Agreement on Trade in Services in Annex 1B to the WTO Agreement;

日ASEAN包括的経済連携協定

一一六

- (e) 「千九百九十四年のガット」とは、世界貿易機関設立協定附属書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定をいう。この協定の適用上、千九百九十四年のガットの条項を引用する場合には、その注釈及び補足規定を含む。
- (f) 「統一システム」とは、商品の名称及び分類についての統一システムに関する国際条約附属書に定める商品の名称及び分類についての統一システムであって、全締約国によりそれぞれの国内法の下で採用され、及び実施されるものをいう。
- (g) 「新規ASEAN構成国」とは、カンボジア王国、ラオス人民民主共和国、ミャンマー連邦及びインドネシア社会主義共和国をいう。
- (h) 「全締約国」とは、日本国及び全ASEAN構成国のうち自国についてこの協定の効力が生じたものを総称していう。
- (i) 「締約国」とは、日本国又は全ASEAN構成国のうち自国についてこの協定の効力が生じたものいずれかをいう。

第二条 原則

全締約国は、この協定その他の二国間の又は地域的な協定又は取決めを通じてAJCEPを実現することの重要性を再確認し、次の原則を指針とする。

- (a) AJCEPは、日本国及び全ASEAN構成国が関与するものでなければならず、自由化、円滑化及び経済的協力に焦点を合わせた広範な分野を含む。
- (b) AJCEPを実現させる上で、ASEANの一体性、連帯及び統合が維持されなければならない。
- (c) 全ASEAN構成国、特に新規ASEAN構成国に対し、その経済開発の異なる水準を認識し、特別のかつ異なる待遇が与えられる。新規ASEAN構成国に対しては、追加的な柔軟性が与えられる。

- (e) "GATT 1994" means the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 in Annex 1A to the WTO Agreement. For the purposes of this Agreement, references to articles in GATT 1994 include its Notes and Supplementary Provisions;

- (f) "Harmonized System" or "HS" means the Harmonized Commodity Description and Coding System set out in the Annex to the International Convention on the Harmonized Commodity Description and Coding System, and adopted and implemented by the Parties in their respective laws;

- (g) "newer ASEAN Member States" means the Kingdom of Cambodia, the Lao People's Democratic Republic, the Union of Myanmar and the Socialist Republic of Viet Nam;

- (h) "Parties" means Japan and those ASEAN Member States for which this Agreement has entered into force collectively; and

- (i) "Party" means either of Japan or one (1) of ASEAN Member States for which this Agreement has entered into force.

Article 2 Principles

The Parties reaffirm the importance of realising the AJCEP through both this Agreement and other bilateral or regional agreements or arrangements, and are guided by the following principles:

- (a) the AJCEP shall involve Japan and all ASEAN Member States and includes a broad range of sectors focusing on liberalisation, facilitation and economic cooperation;
- (b) the integrity, solidarity and integration of ASEAN shall be maintained in the realisation of the AJCEP;
- (c) special and differential treatment is accorded to ASEAN Member States, especially the newer ASEAN Member States, in recognition of their different levels of economic development; additional flexibility is accorded to the newer ASEAN Member States;

- (d) 後発開発途上国のための措置に関する世界貿易機関の閣僚宣言の規定が認識されなければならない。
- (e) 日本国及び各ASEAN構成国の機微に係る分野を取り扱うために柔軟性が与えられるべきである。
- (f) 技術協力及び能力開発は、この協定に基づいて提供される経済的協力の重要な要素である。

第二条 目的

この協定の目的は、次のとおりとする。

- (a) 全締約国間の物品及びサービスの貿易を漸進的に自由化し、及び円滑化すること。
- (b) 全締約国における投資の機会を改善し、並びに投資財産及び投資活動の保護を確保すること。
- (c) ASEANの経済的な統合を支援し、全ASEAN構成国間における経済開発の格差を縮小し、並びに全締約国間の貿易及び投資を増進するため、全締約国間の経済的協力の増進のための枠組みを設定すること。

第四条 透明性

- 1 各締約国は、法令、行政上の手続、一般に適用される行政上の決定及び司法上の決定並びに自国が締結している国際協定であって、この協定の実施及び運用に関連し、又は影響を及ぼすものを、自国の法令に従って、公に利用可能なものとする。
- 2 各締約国は、1に規定する法令、行政上の手続及び一般に適用される行政上の決定について責任を負う権限のある当局の名称及び所在地を公に利用可能なものとする。
- 3 各締約国は、他の締約国の要請があった場合には、1に規定する事項に関して、英語で、当該他の締約国の個別の質問に応じ、及び当該他の締約国に情報を提供する。

日ASEAN包括的経済連携協定

- (d) recognition shall be given to the provisions of the ministerial declarations of the World Trade Organization on measures in favour of least-developed countries;
- (e) flexibility should also be given to address the sensitive sectors in Japan and each ASEAN Member State; and
- (f) technical assistance and capacity building are important elements of economic cooperation provided under this Agreement.

Article 3
Objectives

The objectives of this Agreement are to:

- (a) progressively liberalise and facilitate trade in goods and services among the Parties;
- (b) improve investment opportunities and ensure protection for investments and investment activities in the Parties; and
- (c) establish a framework for the enhancement of economic cooperation among the Parties with a view to supporting ASEAN economic integration, bridging the development gap among ASEAN Member States, and enhancing trade and investment among the Parties.

Article 4
Transparency

- 1. Each Party shall, in accordance with its laws and regulations, make publicly available its laws, regulations, administrative procedures and administrative rulings and judicial decisions of general application as well as international agreements to which the Party is a party, that pertain to or affect the implementation and operation of this Agreement.
- 2. Each Party shall make publicly available the names and addresses of the competent authorities responsible for laws, regulations, administrative procedures and administrative rulings, referred to in paragraph 1.
- 3. Each Party shall, upon the request by another Party, respond to specific questions from, and provide information to, the latter, in the English language, with respect to matters referred to in paragraph 1.

日ASEAN包括的経済連携協定

秘密性

第五条 秘密性

- 1 この協定のいかなる規定も、締約国に対し、秘密の情報であつて、その開示が、自国の法令の実施を妨げ、その他公共の利益に反することとなり、又は公私の特定の企業の正当な商業上の利益を害するものとなるものの提供を要求するものではない。
- 2 この協定のいかなる規定も、締約国に対し、金融機関の顧客に関する事項及び勘定に関連する情報の提供を要求するものと解してはならない。
- 3 各締約国は、自国の法令に従い、他の締約国がこの協定に従つて秘密のものとして提供する情報の秘密性を保持する。

租税

第六条 租税

- 1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、この協定の規定は、租税に係る課税措置については、適用しない。
- 2 この協定のいかなる規定も、租税条約に基づく締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。この協定と当該租税条約とが抵触する場合には、その抵触の限度において、当該租税条約が優先する。
- 3 前二条の規定は、この協定の規定が租税に係る課税措置に適用される限度において、当該措置について適用する。

第七条 一般的例外

次章から第五章までの規定の適用上、千九百九十四年のガット第二十条の規定は、必要な変更を加えた上で、この協定に組み込まれ、この協定の一部を成す。

第八条 安全保障のための例外

- この協定のいかなる規定も、次のいずれかの事項を定めるものと解してはならない。
- (a) 締約国に対し、その開示が自国の安全保障上の重大な利益に反すると当該締約国が認める情報の提供を要求すること。

Article 5
Confidentiality

1. Nothing in this Agreement shall require a Party to provide confidential information, the disclosure of which would impede law enforcement of the Party, or otherwise be contrary to the public interest, or which would prejudice legitimate commercial interests of any particular enterprise, public or private.
2. Nothing in this Agreement shall be construed to require a Party to provide information relating to the affairs and accounts of customers of financial institutions.
3. Each Party shall, in accordance with its laws and regulations, maintain the confidentiality of information provided as confidential by another Party pursuant to this Agreement.

Article 6
Taxation

1. Unless otherwise provided for in this Agreement, the provisions of this Agreement shall not apply to any taxation measures.
2. Nothing in this Agreement shall affect the rights and obligations of any Party under any tax convention. In the event of any inconsistency between this Agreement and any such convention, that convention shall prevail to the extent of the inconsistency.
3. Articles 4 and 5 shall apply to taxation measures, to the extent that the provisions of this Agreement are applicable to such taxation measures.

Article 7
General Exceptions

For the purposes of Chapters 2 through 5, Article XX of GATT 1994 is incorporated into and forms part of this Agreement, *mutatis mutandis*.

Article 8
Security Exceptions

- Nothing in this Agreement shall be construed:
- (a) to require any Party to furnish any information, the disclosure of which it considers contrary to its essential security interests; or

安全保障のための例外

一般的例外

非政府機関
との関係

他の協定
との関係

(b) 締約国が自国の安全保障上の重大な利益の保護のために必要であると認める次のいずれかの措置をとることを妨げること。

(i) 核分裂性物質又はその生産原料である物質に関する措置

(ii) 武器、弾薬及び軍需品の取引並びに軍事施設に供給するため直接又は間接に行われるその他の貨物及び原料の取引に関する措置

(iii) 通信、電力及び水道の基盤を含む中核的な公共基盤を使用不能にし、又は破壊することを含む意図した計画的な企てから、当該公共基盤を防護するためにとる措置

(iv) 国内における緊急時又は戦時その他の国際関係の緊急時にとる措置

(c) 締約国が国際の平和及び安全の維持のため国際連合憲章に基づく義務に従って措置をとることを妨げること。

第九条 非政府機関

各締約国は、この協定に基づく自国の義務及び約束を履行するに当たり、自国において中央、地域又は地方の政府又は機関によって委任された権限を行使する非政府機関による当該義務及び約束の遵守を確保するよう努める。

第十条 他の協定との関係

1 各締約国は、世界貿易機関設立協定に基づく自国の他の締約国に対する権利及び義務並びに他の締約国との間で締結しているその他の協定に基づく自国の当該他の締約国に対する権利及び義務を再確認する。

2 各締約国が他の締約国との間で締結している他の協定に基づいて当該他の締約国に対して義務を負う場合において、当該他の締約国に対しこの協定の下で与えられる待遇よりも有利な待遇が当該他の協定の下で与えられるときは、この協定のいかなる規定も、当該義務に影響を及ぼすものと解してはならない。

(b) to prevent any Party from taking any action which it considers necessary for the protection of its essential security interests:

(i) relating to fissionable materials or the materials from which they are derived;

(ii) relating to the traffic in arms, ammunition and implements of war and to such traffic in other goods and materials as is carried on directly or indirectly for the purpose of supplying a military establishment;

(iii) taken so as to protect critical public infrastructure, including communications, power and water infrastructures, from deliberate attempts intended to disable or degrade such infrastructure;

(iv) taken in time of domestic emergency, or war or other emergency in international relations; or

(c) to prevent any Party from taking any action in pursuance of its obligations under the United Nations Charter for the maintenance of international peace and security.

Article 9
Non-governmental Bodies

In fulfilling its obligations and commitments under this Agreement, each Party shall endeavour to ensure their observance by non-governmental bodies in the exercise of powers delegated by central, regional or local governments or authorities within the Party.

Article 10
Relation to Other Agreements

1. Each Party reaffirms its rights and obligations vis-à-vis another Party under the WTO Agreement and/or other agreements to which these Parties are parties.

2. Nothing in this Agreement shall be construed to derogate from any obligation of a Party vis-à-vis another Party under agreements to which these Parties are parties, if such an obligation entitles the latter Party to treatment more favourable than that accorded by this Agreement.

- 3 この協定と世界貿易機関設立協定とが抵触する場合には、その抵触の限度において、世界貿易機関設立協定が優先する。
- 4 この協定と二以上の締約国が締結している協定（世界貿易機関設立協定を除く。）とが抵触する場合には、それらの締約国は、国際法の一般原則を考慮しつつ、相互に満足すべき解決を得るために直ちに相互に協議する。
- 5 世界貿易機関設立協定を締結していない締約国は、世界貿易機関への加盟の際には、自国の約束に従って世界貿易機関設立協定の規定に拘束される。

第十一条 合同委員会

- 1 この協定に基づき合同委員会を設置する。
- 2 合同委員会は、次の事項を任務とする。
 - (a) この協定の実施及び運用について見直しを行うこと。
 - (b) 全締約国に対し、この協定の実施及び運用についての報告を提出すること。
 - (c) この協定の改正について検討し、及び全締約国に勧告すること。
 - (d) この協定に基づいて設置されるすべての小委員会の作業を監督し、及び調整すること。
 - (e) 次のものを採択すること。
 - (i) 附属書四規則十一に規定する運用上の規則
 - (ii) 必要な決定
 - (f) 全締約国が合意するその他の任務を遂行すること。
- 3 (a) 合同委員会は、日本国及び全ASEAN構成国の代表者から成る。

3. In the event of any inconsistency between this Agreement and the WTO Agreement, the WTO Agreement shall prevail to the extent of the inconsistency.

4. In the event of any inconsistency between this Agreement and any agreement other than the WTO Agreement to which more than one (1) Party are parties, these Parties shall immediately consult with each other with a view to finding a mutually satisfactory solution, taking into consideration general principles of international law.

5. A Party which is not a party to the WTO Agreement shall abide by the provisions of the said Agreement in accordance with its accession commitments to the World Trade Organization.

Article 11 Joint Committee

1. A Joint Committee shall be established under this Agreement.
2. The functions of the Joint Committee shall be to:
 - (a) review the implementation and operation of this Agreement;
 - (b) submit a report to the Parties on the implementation and operation of this Agreement;
 - (c) consider and recommend to the Parties any amendments to this Agreement;
 - (d) supervise and coordinate the work of all Sub-Committees established under this Agreement;
 - (e) adopt:
 - (i) the Implementing Regulations referred to in Rule 11 of Annex 4; and
 - (ii) any necessary decisions; and
 - (f) carry out other functions as may be agreed by the Parties.
3. The Joint Committee:
 - (a) shall be composed of representatives of Japan and ASEAN Member States; and

(b) 合同委員会は、小委員会を設置し、自己の任務の遂行を委任することができる。

4 合同委員会は、全締約国が合意する場所及び時期において会合する。

第十二条 全締約国間の連絡

各締約国は、第六十一条に規定する場合を除くほか、この協定に関するすべての事項について全締約国間の連絡を円滑にするため、連絡部局を指定する。それらに係るすべての公式の連絡は、英語で行う。

第二章 物品の貿易

第十三条 定義

この章の規定の適用上、

(a) 「関税」とは、商品の輸入に関連して課される関税、輸入税その他あらゆる種類の課徴金をいう。ただし、次のものを含まない。

(i) 輸入される当該商品と同様の国内産品に対し、又は輸入される当該商品の全部若しくは一部がそれから製造され、若しくは生産されている産品に対して、千九百九十四年のガット第三条2の規定に適合して課される内国税に相当する課徴金

(ii) 千九百九十四年のガット第六条、世界貿易機関設立協定附属書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第六条の実施に関する協定及び世界貿易機関設立協定附属書一A補助金及び相殺措置に関する協定の規定に適合して課されるダンピング防止税又は相殺関税

(iii) 提供された役務の費用に応じた手数料その他の課徴金

(b) 「関税法令」とは、物品の輸入、輸出及び通過に関して各締約国の税関当局が運用し、及び執行する法令であって、関税、手数料及び他の税に関するもの又は各締約国の関税領域の境界を越える規制物品

日ASEAN包括的経済連携協定

(b) may establish Sub-Committees and delegate its responsibilities thereto.

4. The Joint Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

Article 12
Communications

Each Party shall designate a contact point to facilitate communications among the Parties on, except as otherwise provided for in Article 61, any matter relating to this Agreement. All official communications in this regard shall be done in the English language.

Chapter 2
Trade in Goods

Article 13
Definitions

For the purposes of this Chapter, the term:

(a) "customs duties" means any customs or import duty and a charge of any kind imposed in connection with the importation of a good, but does not include any:

(i) charge equivalent to an internal tax imposed consistently with the provisions of paragraph 2 of Article III of GATT 1994, in respect of the like domestic goods or in respect of goods from which the imported goods have been manufactured or produced in whole or in part;

(ii) anti-dumping or countervailing duty applied consistently with the provisions of Article VI of GATT 1994, the Agreement on Implementation of Article VI of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994, and the Agreement on Subsidies and Countervailing Measures in Annex 1A to the WTO Agreement; or

(iii) fee or any charge commensurate with the cost of services rendered;

(b) "customs laws" means such laws and regulations administered and enforced by the customs authority of each Party concerning the importation, exportation, and transit of goods,

日ASEAN包括的経済連携協定

の移動の禁止、制限その他これらに類する規制に関するものをいう。

(c) 「物品の課税価額」とは、従価による関税の賦課のための輸入物品の価額をいう。

(d) 「国内産業」とは、締約国内で活動する同種の若しくは直接に競合する製品の生産者の全体又はこれらの生産者のうち当該製品の生産高の合計が当該製品の国内総生産高の相当な部分を占めている生産者をいう。

(e) 「原産品」とは、次章の規定に従って原産品とされる産品をいう。

(f) 「重大な損害」とは、国内産業の状態の著しい全般的な悪化をいう。

(g) 「重大な損害のおそれ」とは、事実に基づき、明らかに差し迫った重大な損害と認められるものをい、申立て、推測又は希薄な可能性のみに基づくものは含まない。

第十四条 物品の分類

全締約国間で取引される物品の分類は、統一システムに適合したものとする。

第十五条 内国の課税及び規則に関する内国民待遇

各締約国は、千九百九十四年のガット第三条の規定の例により、他の締約国の産品に対して内国民待遇を与えるものとし、このため、同条の規定は、必要な変更を加えた上で、この協定に組み込まれ、この協定の一部を成すこととなる。

第十六条 関税の撤廃又は引下げ

1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、各締約国は、他の締約国の原産品について、附属書1の自国の表に従って、関税を撤廃し、又は引き下げる。その撤廃又は引下げは、他のすべての締約国の原産

— — — —

as they relate to customs duties, charges, and other taxes), or to prohibitions, restrictions, and other similar controls with respect to the movement of controlled items across the boundary of the customs territory of each Party;

(c) "customs value of goods" means the value of goods for the purposes of levying ad valorem customs duties on imported goods;

(d) "domestic industry" means the producers as a whole of the like or directly competitive goods operating in a Party, or those whose collective output of the like or directly competitive goods constitutes a major proportion of the total domestic production of those goods;

(e) "originating goods" means goods that qualify as originating in accordance with the provisions of Chapter 3;

(f) "serious injury" means a significant overall impairment in the position of a domestic industry; and

(g) "threat of serious injury" means serious injury that, on the basis of facts and not merely on allegation, conjecture or remote possibility, is clearly imminent.

Article 14
Classification of Goods

The classification of goods in trade between the Parties shall be in conformity with the Harmonized System.

Article 15
National Treatment on Internal Taxation and Regulation

Each Party shall accord national treatment to the goods of the other Parties in accordance with Article III of GATT 1994, which to this end is incorporated into and forms part of this Agreement, *mutatis mutandis*.

Article 16
Elimination or Reduction of Customs Duties

1. Except as otherwise provided for in this Agreement, each Party shall, in accordance with its Schedule in Annex 1, eliminate or reduce its customs duties on originating

物品の分類

内国の課税及び規則に関する内国民待遇

関税の撤廃又は引下げ

品に対して無差別的に適用する。

2 全締約国は、物品の貿易の自由化へ向けて、千九百九十四年のガットに適合する単独の、二国間の又は地域的な努力を通じて追加的な手段をとるよう努める。

3 全締約国は、この章のいかなる規定も、第七条に規定するとおり、有害廃棄物の国境を越える移動及びその他の処分の規制に関するバーゼル条約又は関連する他の国際協定を締結している締約国がこれらの国際約束に従って自国の法令に基づく有害廃棄物又は有害物質に関する措置を採用する、又は実施すること妨げるものと解してはならないことを再確認する。

第十七条 関税上の評価

世界貿易機関設立協定附属書一 A 千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定第七条の実施に関する協定（以下「関税評価協定」という。）（第一部の規定は、全締約国間で取引される物品の課税価額の決定について準用する。

注釈 カンボジア王国については、関税評価協定は、世界貿易機関へのカンボジア王国の加入のための議定書の規定に従って実施されるものを準用する。

第十八条 非関税措置

1 各締約国は、他の締約国の商品の輸入について又は他の締約国に仕向けられる商品の輸出若しくは輸出のための販売について、世界貿易機関設立協定において認められる措置と同一の措置を除くほか、いかなる非関税措置（数量制限を含む。）も新設し、又は維持してはならない。

2 各締約国は、1の規定において認められた自国の非関税措置（数量制限を含む。）の透明性を確保する。世界貿易機関の加盟国である締約国は、貿易にもたらされ得るゆがみを可能な限り最小にするため、世界貿易機関設立協定に基づく義務の完全な遵守を確保する。

日ASEAN包括的経済連携協定

goods of the other Parties. Such elimination or reduction shall be applied to originating goods of all the other Parties on a non-discriminatory basis.

2. The Parties shall endeavour to take further steps towards liberalisation of trade in goods through unilateral, bilateral or regional efforts consistent with GATT 1994.

3. The Parties reaffirm that, as is provided for in Article 7, nothing in this Chapter shall be construed to prevent a Party which is a party to the Basel Convention on the Control of Transboundary Movements of Hazardous Wastes and their Disposal or other relevant international agreements from adopting or enforcing any measure in relation to hazardous wastes or hazardous substances based on its laws and regulations, in accordance with such international agreements.

Article 17
Customs Valuation

For the purposes of determining the customs value of goods traded between the Parties, the provisions of Part I of the Agreement on Implementation of Article VII of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 in Annex 1A to the WTO Agreement (hereinafter referred to as "the Agreement on Customs Valuation") shall apply, *mutatis mutandis*.

Note: In the case of the Kingdom of Cambodia, the Agreement on Customs Valuation, as implemented in accordance with the provisions of the Protocol on the Accession of the Kingdom of Cambodia to the World Trade Organization, shall apply, *mutatis mutandis*.

Article 18
Non-tariff Measures

1. Each Party shall not institute or maintain any non-tariff measures including quantitative restrictions on the importation of any good of the other Parties or on the exportation or sale for export of any good destined for another Party, except the same measures as those permitted under the WTO Agreement.

2. Each Party shall ensure transparency of its non-tariff measures permitted under paragraph 1, including quantitative restrictions. Each Party which is a member of the World Trade Organization shall ensure full compliance with the obligations under the WTO Agreement with a view to

譲許の修正

第十九条 譲許の修正

- 1 全締約国は、この協定に規定する場合を除くほか、この協定に基づく譲許を無効にし、又は侵害してはならない。
- 2 いずれの締約国も、利害関係を有する他の締約国との間で、この協定に基づき行われた譲許を修正し、又は撤回するために交渉することができる。その交渉（他の産品に関する補償的調整を含むこと）ができる。（において、関係締約国は、その交渉前におけるこの協定に定められた水準より貿易にとって不利でない相互的かつ互恵的な譲許の一般的水準を維持する。当該交渉の結果をこの協定に反映するに当たり、第七十七条の規定を適用する。

第二十条 セーフガード措置

セーフガード措置

- 1 世界貿易機関の加盟国である締約国は、千九百九十四年のガット第十九条及び世界貿易機関設立協定附属書一Aセーフガードに関する協定（以下「セーフガード協定」という。）又は世界貿易機関設立協定附属書一A農業に関する協定（以下「農業協定」という。）第五条の規定に従い、他の締約国の原産品に対してセーフガード措置をとることができる。この協定の第九章の規定は、千九百九十四年のガット第十九条及びセーフガード協定又は農業協定第五条の規定に従ってといたいかなる行為についても、適用しない。

- 2 各締約国は、自国がこの協定に基づいて負う義務（関税の譲許を含む。）の効果により、又は事情の予見されなかった発展の結果及び自国がこの協定に基づいて負う義務の効果により、他の締約国の原産品が自国において同種の又は直接に競合する産品を生産する自国の国内産業に重大な損害を与え、又は与えるおそれがあるような増加した数量（絶対量であるか国内生産量に比較しての相対量であるかを問わない。）で、及びそのような条件で、自国に輸入されているときは、当該重大な損害を防止し、又は救済し、かつ、調整を容易にするために必要な最小限度の範囲において、この条に規定するセーフガード措置（以下「AJCEPセーフガード措置」という。）をとることができるものとする。

minimising possible distortions to trade to the maximum extent possible.

Article 19
Modification of Concessions

1. The Parties shall not nullify or impair any of the concessions under this Agreement, except in cases provided for in this Agreement.
2. Any Party may negotiate with any interested Party to modify or withdraw its concession made under this Agreement. In such negotiations, which may include compensatory adjustment with respect to other goods, the Parties concerned shall maintain a general level of reciprocal and mutually advantageous concessions not less favourable to trade than that provided for in this Agreement prior to such negotiations. In reflecting the results of such negotiations to this Agreement, Article 77 shall apply.

Article 20
Safeguard Measures

1. A Party which is a member of the World Trade Organization may apply a safeguard measure to an originating good of the other Parties in accordance with Article XIX of GATT 1994 and the Agreement on Safeguards in Annex 1A to the WTO Agreement (hereinafter referred to as "the Agreement on Safeguards"), or Article 5 of the Agreement on Agriculture in Annex 1A to the WTO Agreement (hereinafter referred to as "Agreement on Agriculture"). Any action taken pursuant to Article XIX of GATT 1994 and the Agreement on Safeguards, or Article 5 of the Agreement on Agriculture shall not be subject to Chapter 9 of this Agreement.

2. Each Party shall be free to apply a safeguard measure provided for under this Article (hereinafter referred to as "an AJCEP safeguard measure"), to the minimum extent necessary to prevent or remedy the serious injury to a domestic industry of that Party and to facilitate adjustment, if as an effect of the obligations incurred by that Party under this Agreement, including tariff concessions, or if as a result of unforeseen developments and of the effects of the obligations incurred by that Party under this Agreement, an originating good of the other Parties is being imported in such increased quantities, in absolute terms or relative to domestic production, and under such conditions as to cause or threaten to cause serious injury to the domestic industry of the importing Party that produces like or directly

3 AJCEPセーフガード措置は、輸入締約国によるある製品の輸入において、ASEAN構成国である一の締約国の原産品である当該製品の輸入が当該輸入締約国以外の締約国からの当該製品の総輸入量の三パーセントを超えない場合には、当該ASEAN構成国である一の締約国の原産品である当該製品についてとられてはならない。ただし、三パーセントを超えない輸入の割合を有する複数の締約国からの輸入の割合の合計が当該輸入締約国以外の締約国からの当該製品の総輸入量の九パーセント以下であることを条件とする。

4 締約国は、附属書一の自国の表に従って適用される関税割当てに基づいて与えられる割当数量を限度として輸入される原産品について、AJCEPセーフガード措置をとってはならない。

5 AJCEPセーフガード措置をとる締約国は、次のいずれかの措置をとることができる。

(a) この章の規定に基づく関税の段階的な引下げの対象となる他の締約国の原産品であって、AJCEPセーフガード措置の対象となるものの関税の更なる引下げを停止すること。

(b) 次の関税のうちいずれか低い方を超えない水準まで他の締約国の当該原産品の関税を引き上げること。

(i) AJCEPセーフガード措置をとる日における当該原産品の実行最恵国税率

(ii) 第七十九条1の規定に従ってこの協定が効力を生ずる日の前日における当該原産品の実行最恵国税率

6 (a) 締約国は、セーフガード協定第三条及び第四条2に定める手続と同様の手続に従い、自国の権限のある当局が調査を行った後においてのみAJCEPセーフガード措置をとることができる。

(b) (a)に規定する調査については、その開始の日の後一年以内に完了させなければならない。

7 次の条件及び制限は、AJCEPセーフガード措置について適用する。

日ASEAN包括的経済連携協定

competitive goods in the importing Party.

3. An AJCEP safeguard measure shall not be applied against an originating good of a Party which is an ASEAN Member State, as long as its share of imports of the good concerned in the importing Party does not exceed three (3) per cent of the total imports from the other Parties, provided that those Parties with less than three (3) per cent import share collectively account for not more than nine (9) per cent of total imports of the good concerned from the other Parties.

4. A Party shall not apply an AJCEP safeguard measure to an originating good imported up to the limit of quota quantities granted under tariff rate quotas applied in accordance with its Schedule in Annex 1.

5. A Party applying an AJCEP safeguard measure may:

(a) suspend the further reduction of any customs duty on the originating good of the other Parties provided for under this Chapter; or

(b) increase the customs duty on the originating good of the other Parties to a level not to exceed the lesser of:

(i) the applied most-favoured-nation rate (hereinafter referred to as "applied MFN rate") on the good in effect on the day when the AJCEP safeguard measure is applied; and

(ii) the applied MFN rate on the good in effect on the day immediately preceding the date of entry into force of this Agreement pursuant to paragraph 1 of Article 79.

6. (a) A Party may apply an AJCEP safeguard measure only after an investigation has been carried out by the competent authorities of that Party in accordance with the same procedures as those provided for in Article 3 and paragraph 2 of Article 4 of the Agreement on Safeguards.

(b) The investigation referred to in subparagraph (a) shall be completed within one (1) year following its date of initiation.

7. The following conditions and limitations shall apply with regard to an AJCEP safeguard measure:

- (a) 締約国は、次の場合には、他の締約国に対し直ちに書面による通報を行う。
- (i) 重大な損害又は重大な損害のおそれ及びこれらの理由に関する6(a)に規定する調査を開始する場合
 - (ii) 輸入の増加により引き起こされた重大な損害又は重大な損害のおそれの認定を行う場合
 - (iii) AJCEPセーフガード措置をとり、又は延長する決定を行う場合
- (b) (a)に規定する書面による通報を行う締約国は、すべての関連する情報を他の締約国に提供する。この情報には、次の事項を含める。
- (i) (a)(i)の場合における書面による通報については、調査の開始の理由、調査の対象となる原産品の正確な説明及び当該原産品が分類される統一システムの項又は号（附属書一の表において用いられているもの）、調査の対象となる期間並びに調査の開始の日付
 - (ii) (a)(ii)及び(iii)の場合における書面による通報については、原産品の輸入の増加により引き起こされた重大な損害又は重大な損害のおそれがあることについての証拠、とらうとするAJCEPセーフガード措置の対象となる原産品の正確な説明及び当該原産品が分類される統一システムの項又は号（附属書一の表において用いられているもの）、当該AJCEPセーフガード措置の正確な説明並びに当該AJCEPセーフガード措置を導入しようとする日付及び予定適用期間
 - (c) AJCEPセーフガード措置をとらうとし、又は延長しようとする締約国は、(a)に規定する調査から得られる情報を検討し、当該AJCEPセーフガード措置に関し意見を交換し、及び8に規定する補償について合意に達するため、当該AJCEPセーフガード措置により影響を受ける締約国と事前の協議を行うための十分な機会を与える。

- (a) A Party shall immediately give a written notice to the other Parties upon:
- (i) initiating an investigation referred to in subparagraph 6(a) relating to serious injury, or threat of serious injury, and the reasons for it;
 - (ii) making a finding of serious injury or threat of serious injury caused by increased imports; and
 - (iii) taking a decision to apply or extend an AJCEP safeguard measure.
- (b) The Party giving the written notice referred to in subparagraph (a) shall provide the other Parties with all pertinent information, which shall include:
- (i) in the written notice referred to in subparagraph (a)(i), the reason for the initiation of the investigation, a precise description of an originating good subject to the investigation and its heading or subheading of the Harmonized System, on which the Schedules in Annex 1 are based, the period subject to the investigation and the date of initiation of the investigation; and
 - (ii) in the written notice referred to in subparagraphs (a)(ii) and (iii), the evidence of serious injury or threat of serious injury caused by the increased imports of the originating good, a precise description of the originating good subject to the proposed safeguard measure and its heading or subheading of the Harmonized System, on which the schedules in Annex 1 are based, a precise description of the AJCEP safeguard measure, the proposed date of its introduction and its expected duration.
- (c) A Party proposing to apply or extend an AJCEP safeguard measure shall provide adequate opportunity for prior consultations with those Parties which would be affected by the AJCEP safeguard measure with a view to reviewing the information arising from the investigation referred to in subparagraph (a), exchanging views

(d) AJCEPセーフガード措置は、重大な損害を防止し、又は救済し、かつ、調整を容易にするために必要な限度及び期間を超えて維持されてはならず、また、その適用期間は、三年を超えてはならない。AJCEPセーフガード措置は、この条に定める条件が満たされる場合には、延長することができる。ただし、AJCEPセーフガード措置の適用期間の合計は、その延長の期間を含めて、四年を超えるものであってはならない。AJCEPセーフガード措置の予定適用期間が一年を超える場合において、調整を容易にするため、当該AJCEPセーフガード措置を維持している締約国は、その適用期間中一定の間隔で当該AJCEPセーフガード措置を漸進的に緩和する。

(e) AJCEPセーフガード措置の対象とされた原産品の輸入については、当該AJCEPセーフガード措置がとられた期間と等しい期間又は一年のうちいずれか長い期間が経過するまで、AJCEPセーフガード措置を再度とってはならない。

(f) ある産品に対するAJCEPセーフガード措置の適用期間の終了後における当該産品に対する関税率は、AJCEPセーフガード措置をとる締約国の附属書一の表に従い、当該AJCEPセーフガード措置がとられなかったとしたならば適用したであろう税率とする。

8 (a) AJCEPセーフガード措置をとらうとし、又は延長しようとする締約国は、他の締約国に対し、自国と当該AJCEPセーフガード措置により影響を受ける輸出締約国との間にこの協定に基づいて存在する譲許その他の義務と実質的に等価値の対応を譲許その他の義務について講ずることを約束することにより、相互に合意される貿易上の補償の適切な方法を提供する。

(b) 全締約国は、(a)に規定する補償を追求するに当たり、合同委員会において協議を行う。当該協議から生ずるいずれの手続も、AJCEPセーフガード措置がとられた日から三十日以内に完了するものとする。

on the AJCEP safeguard measure and reaching an agreement on compensation set out in paragraph 8.

(d) No AJCEP safeguard measure shall be maintained except to the extent and for such time as may be necessary to prevent or remedy serious injury and to facilitate adjustment, provided that such time shall not exceed a period of three (3) years. An AJCEP safeguard measure may be extended, provided that the conditions set out in this Article are met. The total duration of the AJCEP safeguard measure, including any extensions thereof, shall not exceed four (4) years. In order to facilitate adjustment in a situation where the expected duration of an AJCEP safeguard measure is over one (1) year, the Party maintaining the AJCEP safeguard measure shall progressively liberalise the AJCEP safeguard measure at regular intervals during the period of application.

(e) No AJCEP safeguard measure shall be applied again to the import of a particular originating good which has been subject to such an AJCEP safeguard measure, for a period of time equal to the duration of the previous safeguard measure or one (1) year, whichever is longer.

(f) Upon the termination of an AJCEP safeguard measure on a good, the rate of the customs duty for that good shall be the rate that, in accordance with the Schedule of the Party applying the AJCEP safeguard measure set out in Annex 1, would have been in effect had the AJCEP safeguard measure not been applied.

8. (a) A Party proposing to apply or extend an AJCEP safeguard measure shall provide to the other Parties mutually agreed adequate means of trade compensation in the form of substantially equivalent level of concessions or other obligations to that existing under this Agreement between the Party applying the AJCEP safeguard measure and the exporting Parties which would be affected by such a measure.

(b) In seeking compensation provided for in subparagraph (a), the Parties shall hold consultations in the Joint Committee. Any proceedings arising from such consultations shall be completed within thirty (30) days from the date on which the AJCEP safeguard measure was applied.

(c) (b)に規定する期間内に補償についての合意が得られない場合には、AJCEPセーフガード措置をとる締約国以外の締約国は、当該AJCEPセーフガード措置をとる締約国の原産品について、この協定に基づく関税の譲許であつて、当該AJCEPセーフガード措置と実質的に等価値のものを停止することができない。当該AJCEPセーフガード措置をとる締約国以外の締約国は、実質的に同等の効果を達成するために必要最小限度の、かつ、当該AJCEPセーフガード措置が維持されている期間に限り、当該譲許の停止を行うことができる。この(c)に定める譲許を停止する権利は、当該AJCEPセーフガード措置が輸入の絶対量の増加の結果としてとられたものであり、かつ、当該AJCEPセーフガード措置がこの条の規定に適合する場合には、当該AJCEPセーフガード措置がとられている最初の二年間については、行使されてはならない。

9 (a) 千九百九十四年のガット第十九条及びセーフガード協定又は農業協定第五条の規定に従つて他の締約国の原産品の輸入に関してセーフガード措置をとる締約国は、当該輸入に対してAJCEPセーフガード措置をとつてはならない。

(b) 7(d)に規定するAJCEPセーフガード措置の適用期間は、締約国が(a)の規定に従つてAJCEPセーフガード措置をとらないことによつて中断されない。

10 (a) 全締約国は、第七十九条1の規定に従つてこの協定が効力を生じた後十年以内に、AJCEPセーフガード措置に関する制度を維持する必要があるかを否かを決定するため、この条の規定について見直しを行う。

(b) 全締約国は、(a)の規定に基づく見直しの間にAJCEPセーフガード措置に関する制度を撤廃することとに合意しない場合には、その後は第七十五条の規定に基づく一般的な見直しとの関連において、AJCEPセーフガード措置に関する制度を維持する必要があるか否かを決定するための見直しを行う。

(c) If no agreement on the compensation is reached within the time frame specified in subparagraph (b), the Parties other than the one applying the AJCEP safeguard measure shall be free to suspend concessions of customs duties under this Agreement, which is substantially equivalent to the AJCEP safeguard measure, on originating goods of the Party applying the AJCEP safeguard measure. The Parties may suspend the concessions only for the minimum period necessary to achieve the substantially equivalent effects and only while the AJCEP safeguard measure is maintained. The right of suspension provided for in this subparagraph shall not be exercised for the first two (2) years that an AJCEP safeguard measure is in effect, provided that the AJCEP safeguard measure has been applied as a result of an absolute increase in imports and that such an AJCEP safeguard measure conforms to the provisions of this Article.

9. (a) A Party applying a safeguard measure in connection with an importation of an originating good of another Party in accordance with Article XIX of GATT 1994 and the Agreement on Safeguards, or Article 5 of the Agreement on Agriculture, shall not apply the AJCEP safeguard measure to that importation.

(b) The period of application of the AJCEP safeguard measure referred to in subparagraph 7(d) shall not be interrupted by the Party's non-application of the AJCEP safeguard measure in accordance with subparagraph (a).

10. (a) Within ten (10) years after the entry into force of this Agreement pursuant to paragraph 1 of Article 79, the Parties shall review this Article with a view to determining whether there is a need to maintain the AJCEP safeguard mechanism.

(b) If the Parties do not agree to remove the AJCEP safeguard mechanism during the review pursuant to subparagraph (a), the Parties shall thereafter conduct reviews to determine the necessity of the AJCEP safeguard mechanism, in conjunction with the general review pursuant to Article 75.

11 (a) 遅延すれば回復し難い損害を引き起こすような危機的な事態が存在する場合には、締約国は、原産品の輸入の増加が国内産業に対する重大な損害を引き起こしていること又は引き起こすおそれがあることについての明白な証拠があるという仮の決定に基づき、5 (a)又は(b)に規定する措置の形態をとる暫定的なAJCEPセーフガード措置をとることができる。

(b) 締約国は、暫定的なAJCEPセーフガード措置をとる前に、他の締約国に対し書面による通報を行う。暫定的なAJCEPセーフガード措置の適用については、これがとられた後速やかに合同委員会において全締約国による協議を開始する。

(c) 暫定的なAJCEPセーフガード措置の期間は、二百日を超えてはならない。その期間中、6に定める関連する要件が満たされるものとする。暫定的なAJCEPセーフガード措置の期間は、7 (d)に規定する期間に算入される。

(d) 3及び7 (f)の規定は、暫定的なAJCEPセーフガード措置について準用する。

(e) 暫定的なAJCEPセーフガード措置の結果として課された関税は、その後行われる6 (a)に規定する調査により原産品の輸入の増加が国内産業に対する重大な損害を引き起こしていること、又は引き起こすおそれがあるとの決定が行われない場合には、払い戻される。

12 全締約国間で交換されるすべての公式の連絡及び文書であって、AJCEPセーフガード措置に関するものは、書面によるものとし、英語で行うものとする。

11. (a) In critical circumstances, where delay would cause damage which it would be difficult to repair, a Party may apply a provisional AJCEP safeguard measure, which shall take the form of the measure set out in subparagraph 5(a) or 5(b), pursuant to a preliminary determination that there is clear evidence that increased imports of an originating good have caused or are threatening to cause serious injury to a domestic industry.

(b) A Party shall give a written notice to the other Parties prior to applying a provisional AJCEP safeguard measure. Consultations by the Parties in the Joint Committee on the application of the provisional AJCEP safeguard measure shall be initiated immediately after the provisional AJCEP safeguard measure is applied.

(c) The duration of a provisional AJCEP safeguard measure shall not exceed two hundred (200) days. During that period, the pertinent requirements of paragraph 6 shall be met. The duration of the provisional AJCEP safeguard measure shall be counted as a part of the period referred to in subparagraph 7(d).

(d) Paragraph 3 and subparagraph 7(f) shall apply, *mutatis mutandis*, to the provisional AJCEP safeguard measure.

(e) The customs duty imposed as a result of the provisional AJCEP safeguard measure shall be refunded if the subsequent investigation referred to in subparagraph 6(a) does not determine that increased imports of the originating good have caused or threatened to cause serious injury to a domestic industry.

12. All official communications and documents exchanged among the Parties relating to an AJCEP safeguard measure shall be in writing and shall be in the English language.

日ASEAN包括的経済連携協定

第二十一条 国際収支の擁護のための措置

この章のいかなる規定も、締約国が国際収支上の目的のために措置をとることを妨げるものと解してはならない。当該措置をとる締約国は、千九百九十四年のガット第十二条及び世界貿易機関設立協定附属書一A千九百九十四年の関税及び貿易に関する一般協定の国際収支に係る規定に関する了解に規定する条件に従うものとする。

第二十二条 税関手続

1 各締約国は、予見可能であり、かつ、一貫性及び透明性のある方法で自国の税関手続を適用するよう努める。

2 各締約国は、税関手続の分野における透明性を向上させることの重要性を認識して、自国の国内法令及び利用可能な資源に従うことを条件として、自国の関税法令に関し全締約国の利害関係者が提起した個別的な事項についての情報を提供するよう努める。各締約国は、当該情報のみでなく、当該利害関係者が知るべきであると考えその他の適切な情報も併せて提供するよう努める。

3 各締約国は、貿易の円滑化を促進するに当たつての税関当局の重要な役割及び税関手続の重要性を認識して、全締約国間で取引される物品の速やかな通関のため、次の事項を行うよう努める。

- (a) 自国の税関手続を簡素化すること。
- (b) 関税協力理事会の主権の下で作成される標準規定及び勧告規定その他の関連する国際的な基準及び勧告された慣行に自国の税関手続を可能な限り調和させること。

第三章 原産地規則

第二十三条 定義

この章の規定の適用上、

Article 21

Measures to Safeguard the Balance of Payments

Nothing in this Chapter shall be construed to prevent a Party from taking any measure for balance-of-payments purposes. A Party taking such measure shall do so in accordance with the conditions established under Article XII of GATT 1994 and the Understanding on the Balance-of-Payments Provisions of the General Agreement on Tariffs and Trade 1994 in Annex 1A to the WTO Agreement.

Article 22

Customs Procedures

1. Each Party shall endeavour to apply its customs procedures in a predictable, consistent and transparent manner.

2. Recognising the importance of improving transparency in the area of customs procedures, each Party, subject to its laws and regulations, and available resources, shall endeavour to provide information relating to specific matters raised by interested persons of the Parties pertaining to its customs laws. Each Party shall endeavour to supply not only such information but also other pertinent information which it considers the interested persons should be made aware of.

3. For prompt customs clearance of goods traded among the Parties, each Party, recognising the significant role of customs authorities and the importance of customs procedures in promoting trade facilitation, shall endeavour to:

- (a) simplify its customs procedures; and
- (b) harmonise its customs procedures, to the extent possible, with relevant international standards and recommended practices such as those made under the auspices of the Customs Co-operation Council.

Chapter 3

Rules of Origin

Article 23

Definitions

For the purposes of this Chapter, the term:

- (a) 「輸出者」とは、輸出締約国に所在する自然人又は法人であつて、当該輸出締約国から産品を輸出するものをいう。
- (b) 「当該締約国の工船」又は「当該締約国の船舶」とは、それぞれ、次のすべての条件を満たす工船又は船舶をいう。
- (i) 当該締約国において登録されていること。
- (ii) 当該締約国の旗を掲げて航行すること。
- (iii) 一又は二以上の締約国の国民又は法人（いずれかの締約国に本店を有する法人であつて、代表者、役員会の長及び当該役員会の構成員の過半数が一又は二以上の締約国の国民であり、かつ、一又は二以上の締約国の国民又は法人が五十パーセント以上の持分を所有しているものに限る。）が五十パーセント以上の持分を所有していること。
- (iv) 船長、上級乗組員及び乗組員の総数の七十五パーセント以上が一又は二以上の締約国の国民であること。
- (c) 「一般的に認められている会計原則」とは、収入、経費、費用、資産又は負債の記録、情報の開示及び財務書類の作成に関して、締約国において一般的に認められている、又は十分に権威のある支持を得ている会計原則をいう。これらの規程には、一般的に適用される概括的な指針並びに詳細な基準、慣行及び手続を含む。
- (d) 「産品」とは、商品、生産品、製品又は材料をいう。
- (e) 「同一の又は交換可能な材料」とは、同一の技術的及び物理的特性を有し、かつ、種類及び商業上の品質が同一である材料であつて、産品に組み込まれた後は、いかなる表示に基づいても、原産品であるか否かを決定する上でそれぞれを区別することができないものをいう。
- (f) 「輸入者」とは、輸入締約国に産品を輸入する自然人又は法人をいう。

日ASEAN包括的経済連携協定

- (a) "exporter" means a natural or juridical person located in an exporting Party who exports a good from the exporting Party;
- (b) "factory ships of the Party" or "vessels of the Party" respectively means factory ships or vessels:
- (i) which are registered in the Party;
- (ii) which sail under the flag of the Party;
- (iii) which are owned to an extent of at least fifty (50) per cent by nationals of one or more of the Parties, or by a juridical person with its head office in a Party, of which the representatives, chairman of the board of directors, and the majority of the members of such board are nationals of one or more of the Parties, and of which at least fifty (50) per cent of the equity interest is owned by nationals or juridical persons of one or more of the Parties; and
- (iv) of which at least seventy-five (75) per cent of the total of the master, officers and crew are nationals of one or more of the Parties;
- (c) "generally accepted accounting principles" means the recognised consensus or substantial authoritative support in a Party, with respect to the recording of revenues, expenses, costs, assets and liabilities; the disclosure of information; and the preparation of financial statements. These standards may encompass broad guidelines of general application as well as detailed standards, practices and procedures;
- (d) "good" means any merchandise, product, article or material;
- (e) "identical and interchangeable materials" means materials being of the same kind and commercial quality, possessing the same technical and physical characteristics, and which once they are incorporated into the good cannot be distinguished from one another for origin purposes by virtue of any markings;
- (f) "importer" means a natural or juridical person who imports a good into the importing Party;

(g) 「材料」とは、物又は物質であつて、製品の生産において使用され、若しくは消費され、物理的に産品に組み込まれ、又は他の産品の生産に使用されるものをいう。

(h) 「原産品」又は「原産材料」とは、この章の規定に従つて原産品とされる産品又は材料をいう。

(i) 「輸送用及び船積み用のこん包材料及びこん容器」とは、産品を輸送中又は船積み中に保護するために使用される産品であつて、その産品の小売用の容器及び材料以外のものをいう。

(j) 「関税上の特惠待遇」とは、第十六条１の規定に従つて輸出締約国の原産品について適用する関税率をいう。

(k) 「生産」とは、産品を得る方法をいい、栽培、採掘、収穫、成育、繁殖、抽出、採集、収集、捕獲、漁ろう、わなかけ、狩猟、製造、加工及び組立てを含む。

第二十四条 原産品

この協定の適用上、次のいずれかの産品であつて、この章に規定する他のすべての関連する要件を満たすものは、締約国の原産品とする。

- (a) 当該締約国において完全に得られ、又は生産される産品であつて、次条に定めるもの
- (b) 非原産材料を使用する場合には、第二十六条に定める要件を満たすもの
- (c) 一又は二以上の締約国の原産材料のみから当該締約国において完全に生産される産品

(g) "materials" means any matter or substance used or consumed in the production of a good, physically incorporated into a good, or used in the production of another good;

(h) "originating good" or "originating material" means a good or material that qualifies as originating in accordance with the provisions of this Chapter;

(i) "packing materials and containers for transportation and shipment" means the goods used to protect a good during its transportation and shipment, different from those containers or materials used for its retail sale;

(j) "preferential tariff treatment" means the rate of customs duties applicable to an originating good of the exporting Party in accordance with paragraph 1 of Article 16; and

(k) "production" means methods of obtaining a good including growing, mining, harvesting, raising, breeding, extracting, gathering, collecting, capturing, fishing, trapping, hunting, manufacturing, processing or assembling.

Article 24
Originating Goods

For the purposes of this Agreement, a good shall qualify as an originating good of a Party if it:

- (a) is wholly obtained or produced entirely in the Party as provided for in Article 25;
- (b) satisfies the requirements of Article 26 when using non-originating materials; or
- (c) is produced entirely in the Party exclusively from originating materials of one or more of the Parties,

and meets all other applicable requirements of this Chapter.

第二十五条 完全に得られ、又は生産される産品

前条(a)の規定の適用上、次に掲げる産品は、締約国において完全に得られ、又は生産される産品とする。

(a) 当該締約国において栽培され、かつ、収穫され、採取され、又は採集される植物及び植物性生産品

注釈 この(a)の規定の適用上、「植物」とは、すべての植物（果実、花、野菜、樹木、海草、菌類及び生きている植物を含む。）をいう。

(b) 生きている動物であつて、当該締約国において生まれ、かつ、成育されたもの

注釈 この(b)及び(c)の規定の適用上、「動物」とは、すべての動物（哺乳類、鳥類、魚、甲殻類、軟体動物、爬虫類、細菌及びウイルスを含む。）をいう。

(c) 当該締約国において生きている動物から得られる産品

(d) 当該締約国において行われる狩猟、わなかけ、漁ろう、採集又は捕獲により得られる産品

(e) 当該締約国の土壌、水域、海底又はその下において抽出され、又は得られる鉱物その他の天然の物質（(a)から(d)までに規定するものを除く。）

(f) 当該締約国の領水外の水域、海底又はその下から得られる産品。ただし、当該締約国が、自国の国内法令及び国際法に基づき、当該水域、海底又はその下を開発する権利を有することとを条件とする。

注釈 この協定のいかなる規定も、海洋法に関する国際連合条約を含む国際法に基づく全締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。

(g) 当該締約国の船舶により、全締約国の領海外から得られる水産物その他の海洋からの生産品

日ASEAN包括的経済連携協定

Article 25
Goods Wholly Obtained or Produced

For the purposes of paragraph (a) of Article 24, the following shall be considered as wholly obtained or produced entirely in a Party:

(a) plant and plant products grown and harvested, picked or gathered in the Party;

Note: For the purposes of this paragraph, the term "plant" refers to all plant life, including fruit, flowers, vegetables, trees, seaweed, fungi and live plants.

(b) live animals born and raised in the Party;

Note: For the purposes of paragraphs (b) and (c), the term "animals" covers all animal life, including mammals, birds, fish, crustaceans, molluscs, reptiles, bacteria and viruses.

(c) goods obtained from live animals in the Party;

(d) goods obtained from hunting, trapping, fishing, gathering or capturing conducted in the Party;

(e) minerals and other naturally occurring substances, not included in paragraphs (a) through (d), extracted or taken from soil, waters, seabed or beneath the seabed of the Party;

(f) goods taken from the waters, seabed or beneath the seabed outside the territorial waters of the Party, provided that the Party has the rights to exploit such waters, seabed and beneath the seabed in accordance with its laws and regulations and international law;

Note: Nothing in this Agreement shall affect the rights and obligations of the Parties under international law, including those under the United Nations Convention on the Law of the Sea.

(g) goods of sea-fishing and other marine products taken by vessels of the Party from outside the territorial sea of any Party;

完全には
得られず、
又は生産さ
れたい製品

- (h) 当該締約国の工船上において(e)に規定する産品のみから加工され、又は生産される産品
 - (i) 当該締約国において収集される産品であつて、当該締約国において本来の目的を果たすことができず、又は回復若しくは修理が不可能であり、かつ、処分、部品若しくは原材料の回収又は再利用のみに適するもの
 - (j) 当該締約国における製造若しくは加工作業（採掘、農業、建設、精製、焼却及び下水処理作業を含む。）又は消費から生ずるくず及び廃品であつて、処分又は原材料の回収のみに適するもの
 - (k) 当該締約国において(a)から(j)までに規定する産品のみから得られ、又は生産される産品
- 第二十六条 完全には得られず、又は生産されない産品
- 1 第二十四条(b)の規定の適用上、次に掲げる産品は、締約国の原産品とする。
- (a) 次条に定める計算式を用いて算定する当該産品の域内原産割合（以下「RVC」という。）が四十分セント以上の産品であつて、生産の最終工程が当該締約国において行われたもの
 - (b) 当該産品の生産に使用されたすべての非原産材料について、当該締約国において統一システムの関税分類の変更（以下「CTC」という。）であつて四桁番号の水準におけるもの（すなわち、項の変更）が行われた産品
- 注釈 この(b)の規定の適用上、「統一システム」とは、附属書二に定める品目別規則におつて用いられているものをいう。
- 産品が当該締約国の原産品であるかを決定するに当たり、各締約国は、当該産品の輸出者がこの(a)又は(b)の規定のいずれを用いるかについて決定することを認める。

- (h) goods processed and/or made on board factory ships of the Party exclusively from products referred to in paragraph (g);
 - (i) articles collected in the Party which can no longer perform their original purpose or be restored or repaired, and are fit only for disposal, for the recovery of parts or raw materials, or for recycling purposes;
 - (j) scrap and waste derived from manufacturing or processing operations, including mining, agriculture, construction, refining, incineration and sewage treatment operations, or from consumption, in the Party, and fit only for disposal or for the recovery of raw materials; and
 - (k) goods obtained or produced in the Party exclusively from goods referred to in paragraphs (a) through (j).
- Article 26
Goods Not Wholly Obtained or Produced
1. For the purposes of paragraph (b) of Article 24, a good shall qualify as an originating good of a Party if:
- (a) the good has a regional value content (hereinafter referred to as "RVC"), calculated using the formula set out in Article 27, of not less than forty (40) per cent, and the final process of production has been performed in the Party; or
 - (b) all non-originating materials used in the production of the good have undergone in the Party a change in tariff classification (hereinafter referred to as "CTC") at the 4-digit level (i.e. a change in tariff heading) of Harmonized System.
- Note: For the purposes of this subparagraph, "Harmonized System" is that on which the product specific rules set out in Annex 2 are based.
- Each Party shall permit the exporter of the good to decide whether to use subparagraph (a) or (b) when determining whether the good qualifies as an originating good of the Party.

- 2 1の規定にかかわらず、品目別規則の対象となる産品は、附属書二に定める適用可能な品目別規則を満たす場合には、原産品とする。品目別規則がRVCに基づく原産地規則、CTCに基づく原産地規則、特定の製造若しくは加工作業が行われること又はこれらのいずれかのものの組合せを選択することの規定する場合には、産品が締約国の原産品であるかを否かを決定するに当たり、各締約国は、当該産品の輸出者がいずれの規則を用いるかについて決定することを認める。
 - 3 1(a)の規定の適用上、及び附属書二に定める関連する品目別規則であって、特定のRVCを定めるものの適用上、次条に定める計算式を用いて算定する産品のRVCは、当該産品の規則に定める割合以上であることを要件とする。
 - 4 1(b)の規定の適用上、及び附属書二に定める関連する品目別規則の適用上、使用された材料についてCTC又は特定の製造若しくは加工作業が行われたことを求める規則は、非原産材料についてのみ適用する。
 - 5 この章の規定の適用上、附属書三を適用する。
- 第二十七条 域内原産割合の算定
- 1 産品のRVCは、次の計算式を用いて算定する。
$$RVC = \frac{FOB - VNM}{FOB} \times 100 \%$$
 - 2 この条の規定の適用上、
 - (a) 「FOB」とは、3に規定する場合を除くほか、産品の本船渡し（生産者から外国に向けた最終的な積み込みを行う港又は場所まで輸送するために要する運賃を含む。）をいう。
 - (b) 「RVC」とは、百分率で表示される産品のRVCをいう。
 - (c) 「VNM」とは、産品の生産において使用されるすべての非原産材料の価額をいう。

2. Notwithstanding paragraph 1, a good subject to product specific rules shall qualify as an originating good if it satisfies the applicable product specific rules set out in Annex 2. Where a product specific rule provides a choice of rules from a RVC-based rule of origin, a CTC-based rule of origin, a specific manufacturing or processing operation, or a combination of any of these, each Party shall permit the exporter of the good to decide which rule to use in determining whether the good qualifies as an originating good of the Party.
 3. For the purposes of subparagraph 1(a) and the relevant product specific rules set out in Annex 2 which specify a certain RVC, it is required that the RVC of a good, calculated using the formula set out in Article 27, is not less than the percentage specified by the rule for the good.
 4. For the purposes of subparagraph 1(b) and the relevant product specific rules set out in Annex 2, the rules requiring that the materials used have undergone CTC, or a specific manufacturing or processing operation, shall apply only to non-originating materials.
 5. For the purposes of this Chapter, Annex 3 shall apply.
- Article 27
Calculation of Regional Value Content
1. For the purposes of calculating the RVC of a good, the following formula shall be used:
$$RVC = \frac{FOB - VNM}{FOB} \times 100 \%$$
 2. For the purposes of this Article:
 - (a) "FOB" is, except as provided for in paragraph 3, the free-on-board value of a good, inclusive of the cost of transport from the producer to the port or site of final shipment abroad;
 - (b) "RVC" is the RVC of a good, expressed as a percentage; and
 - (c) "VNM" is the value of non-originating materials used in the production of a good.

日ASEAN包括的経済連携協定

一一六

- 3 (a) 産品の本船渡しの際の価額は存在するが、その価額が不明で確認することができない場合には、2 (a) に規定するFOBは、当該産品の買手から当該産品の生産者への確認可能な最初の支払に係る価額に調整される価額とする。
- (b) 産品の本船渡しの際の価額が存在しない場合には、2 (a) に規定するFOBは、関税評価協定第一条から第八条までの規定に従って決定される価額とする。
- 4 1 の規定の適用上、締約国における産品の生産に使用される非原産材料の価額は、次のいずれかの価額とする。
- (a) 関税評価協定に従って決定される価額であつて、当該産品の生産者の所在する締約国の輸入港に当該非原産材料を輸送するために要する運賃、保険料、適当な場合のこん包費その他のすべての費用を含むもの
- (b) 当該非原産材料の価額が不明で確認することができない場合には、当該非原産材料についての当該締約国における確認可能な最初の支払に係る価額。ただし、当該非原産材料の供給者の倉庫から当該産品の生産者の所在地まで当該非原産材料を輸送するために当該締約国において要する運賃、保険料、こん包費その他のすべての費用及び当該締約国において要する他の費用（一般的に認められており、かつ、確認可能なものに限る。）を除外することができ。
- 5 1 の規定の適用上、産品のVNMには、当該産品の生産に当たって使用される当該締約国の原産材料の生産において使用される非原産材料の価額を含めない。
- 6 3 (b) 又は4 (a) の規定の適用において産品又は非原産材料の価額を決定するために関税評価協定を適用するに当たり、関税評価協定は、必要な変更を加えて、国内取引の場合又は当該産品若しくは非原産材料の国内取引が存在しない場合について適用する。

3. FOB referred to in subparagraph 2 (a) shall be the value:

- (a) adjusted to the first ascertainable price paid for a good from the buyer to the producer of the good, if there is free-on-board value of the good, but it is unknown and cannot be ascertained; or
- (b) determined in accordance with Articles 1 through 8 of the Agreement on Customs Valuation, if there is no free-on-board value of a good.
4. For the purposes of paragraph 1, the value of non-originating materials used in the production of a good in a Party:
- (a) shall be determined in accordance with the Agreement on Customs Valuation and shall include freight, insurance, and where appropriate, packing and all other costs incurred in transporting the material to the importation port in the Party where the producer of the good is located; or
- (b) if such value is unknown and cannot be ascertained, shall be the first ascertainable price paid for the material in the Party, but may exclude all the costs incurred in the Party in transporting the material from the warehouse of the supplier of the material to the place where the producer is located such as freight, insurance and packing as well as any other known and ascertainable cost incurred in the Party.
5. For the purposes of paragraph 1, the VNM of a good shall not include the value of non-originating materials used in the production of originating materials of the Party which are used in the production of the good.
6. For the purposes of subparagraph 3 (b) or 4 (a), in applying the Agreement on Customs Valuation to determine the value of a good or non-originating material, the Agreement on Customs Valuation shall apply, *mutatis mutandis*, to domestic transactions or to the cases where there is no domestic transaction of the good or non-originating material.

第二十八条 僅少の非原産材料

1 第二十六条1(b)に定める要件又は附属書二に定めるCTCに基づく適用可能な原産地規則を満たさない製品については、次の場合には、締約国の原産品とみなす。ただし、当該製品が原産品とされるためのこの章に定める他のすべての関連する基準を満たしている場合に限る。

(a) 統一システムの第一六類、第一九類、第二〇類、第二二類、第二三類、第二八類から第四九類までの各類及び第六四類から第九七類までの各類に分類される製品については、当該製品の生産に使用された非原産材料（必要なCTCが行われていないものに限る。）の総額が当該製品のFOBの十パーセント以下の場合

(b) 統一システムの第一八類及び第二一類に分類される特定の製品については、当該製品の生産に使用された非原産材料（必要なCTCが行われていないものに限る。）の総額が、附属書二に定められているとおり、当該製品のFOBの十パーセント又は七パーセント以下の場合

(c) 統一システムの第五〇類から第六三類までの各類に分類される製品については、当該製品の生産に使用された非原産材料（必要なCTCが行われていないものに限る。）の総重量が当該製品の総重量の十パーセント以下の場合

注釈 この1の規定の適用上、前条2(a)の規定を適用する。

2 もっとも、1に規定する非原産材料の価額は、産品に適用可能なRVCに基づく原産地規則において、非原産材料の価額に含める。

第二十九条 累積

締約国の原産材料であって、他の締約国において産品を生産するために使用されたものについては、当該産品を完成させるための作業又は加工が行われた当該他の締約国の原産材料とみなす。

Article 28
De Minimis

1. A good that does not satisfy the requirements of subparagraph 1(b) of Article 26 or an applicable CTC-based rule of origin set out in Annex 2 shall be considered as an originating good of a Party if:

(a) in the case of a good classified under Chapters 16, 19, 20, 22, 23, 28 through 49, and 64 through 97 of the Harmonized System, the total value of non-originating materials used in the production of the good that have not undergone the required CTC does not exceed ten (10) per cent of the FOB; CTC does not exceed ten (10) per cent of the FOB;

(b) in the case of a particular good classified under Chapters 18 and 21 of the Harmonized System, the total value of non-originating materials used in the production of the good that have not undergone the required CTC does not exceed ten (10) per cent or seven (7) per cent of the FOB, as specified in Annex 2; or

(c) in the case of a good classified under Chapters 50 through 63 of the Harmonized System, the weight of all non-originating materials used in the production of the good that have not undergone the required CTC does not exceed ten (10) per cent of the total weight of the good,

provided that it meets all other applicable criteria set out in this Chapter for qualifying as an originating good.

Note: For the purposes of this paragraph, subparagraph 2(a) of Article 27 shall apply.

2. The value of non-originating materials referred to in paragraph 1 shall, however, be included in the value of non-originating materials for any applicable RVC-based rule of origin for the good.

Article 29
Accumulation

Originating materials of a Party used in the production of a good in another Party shall be considered as originating materials of that Party where the working or processing of the good has taken place.

日ASEAN包括的経済連携協定

第三十条 原産資格を与えることとならない作業

原産資格
を与える
こととな
らない作
業

産品については、次の作業が行われることのみを理由として、CTC又は特定の製造若しくは加工作業の要件を満たすものとしてはない。

- (a) 輸送又は保管の間に産品を良好な状態に保管することを確保する作業（乾燥、冷凍、塩水漬け等）その他これに類する作業
- (b) 改装及び仕分
- (c) 組み立てられたものを分解する作業
- (d) 瓶、ケース及び箱に詰めることその他の単純な包装作業
- (e) 統一システムの解釈に関する通則2(a)の規定に従って一の産品として分類される部品及び構成品の収集
- (f) 物品を単にセットにする作業
- (g) (a)から(f)までの作業の組合せ

第三十一条 直接積送

1 関税上の特恵待遇は、この章に規定する要件を満たし、かつ、輸出締約国から輸入締約国へ直接積送される原産品に対して与える。

2 次のいずれかの産品は、輸出締約国から輸入締約国へ直接積送されるものとみなす。

- (a) 輸出締約国から輸入締約国へ直接輸送される産品
- (b) 一若しくは二以上の締約国（輸出締約国及び輸入締約国を除く。）又は第三国を経由して輸送される産品。ただし、当該産品について、積替え又は一時蔵置、積卸し及び当該産品を良好な状態に保存するために必要なその他の作業以外の作業が行われていない場合に限る。

Article 30
Non-qualifying Operations

A good shall not be considered to satisfy the requirements of CTC or specific manufacturing or processing operation merely by reason of:

- (a) operations to ensure the preservation of products in good condition during transport and storage (such as drying, freezing, keeping in brine) and other similar operations;
- (b) changes of packaging and breaking up and assembly of packages;
- (c) disassembly;
- (d) placing in bottles, cases, boxes and other simple packaging operations;
- (e) collection of parts and components classified as a good pursuant to Rule 2(a) of the General Rules for the Interpretation of the Harmonized System;
- (f) mere making-up of sets of articles; or
- (g) any combination of operations referred to in subparagraphs (a) through (f).

Article 31
Direct Consignment

1. Preferential tariff treatment shall be accorded to an originating good satisfying the requirements of this Chapter and which is consigned directly from the exporting Party to the importing Party.

2. The following shall be considered as consigned directly from the exporting Party to the importing Party:

- (a) a good transported directly from the exporting Party to the importing Party; or
- (b) a good transported through one or more Parties, other than the exporting Party and the importing Party, or through a non-Party, provided that the good does not undergo operations other than transit or temporary storage in warehouses, unloading, reloading, and any other operation to preserve it in good condition.

第三十二条 こん包材料及びこん包容器

- 1 製品の輸送又は船積み用のこん包材料及びこん包容器は、当該製品が原産品であるかを決定するに当たつて考慮しない。
- 2 製品の生産に使用されたすべての非原産材料について、当該製品に適用可能なCTCに基づく原産地規則を満たしているかを決定するに当たり、当該製品の小売用の包装材料及び包装容器については、当該製品に含まれるものとして分類される場合には、考慮しない。
- 3 製品がRVCに基づく原産地規則の対象となる場合には、当該製品のRVCを算定するに当たり、当該製品の小売用の包装材料及び包装容器の価額を、場合に応じて原産材料又は非原産材料の価額として考慮する。

第三十三条 附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料

- 1 製品がCTC又は特定の製造若しくは加工作業の要件の対象となる場合には、当該製品が原産品であるかを決定するに当たり、当該製品とともに提供される附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料が原産品であるか否かについては、次の(a)及び(b)に定める要件を満たす場合には、考慮しない。
- (a) 当該附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料に係る仕入書が当該製品の仕入書と別立てにされないこと。
- (b) 当該附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料の数量及び価額が当該製品について慣習的なものであること。
- 2 製品がRVCに基づく原産地規則の対象となる場合には、原産品のRVCを算定するに当たり、附属品、予備部品、工具及び解説資料その他の資料の価額を、場合に応じて原産材料又は非原産材料の価額として考慮する。

第三十四条 間接材料

- 1 間接材料については、生産される場所のいかんを問わず、原産材料とみなす。

Article 32
Packing Materials and Containers

1. Packing materials and containers for transportation and shipment of a good shall not be taken into account in determining the origin of any good.
2. Packing materials and containers in which a good is packaged for retail sale, when classified together with the good, shall not be taken into account in determining whether all of the non-originating materials used in the production of the good have met the applicable CTC-based rule of origin for the good.
3. If a good is subject to a RVC-based rule of origin, the value of the packing materials and containers in which the good is packaged for retail sale shall be taken into account as originating or non-originating materials, as the case may be, in calculating the RVC of the good.

Article 33
Accessories, Spare Parts, Tools and
Instructional or Other Information Materials

1. If a good is subject to the requirements of CTC or specific manufacturing or processing operation, the origin of accessories, spare parts, tools and instructional or other information materials presented with the good shall not be taken into account in determining whether the good qualifies as an originating good, provided that:
- (a) the accessories, spare parts, tools and instructional or other information materials are not invoiced separately from the good; and
- (b) the quantities and value of the accessories, spare parts, tools and instructional or other information materials are customary for the good.

2. If a good is subject to a RVC-based rule of origin, the value of the accessories, spare parts, tools and instructional or other information materials shall be taken into account as the value of the originating or non-originating materials, as the case may be, in calculating the RVC of the originating goods.

Article 34
Indirect Materials

1. Indirect materials shall be treated as originating materials regardless of where they are produced.

2 この条の規定の適用上、「間接材料」とは、他の製品の生産、試験若しくは検査に使用される製品（正該他の製品に物理的に組み込まれないものに限る。）又は他の製品の生産に関連する建物の維持若しくは設備の稼働のために使用される製品をいい、次のものを含む。

- (a) 燃料及びエネルギー
- (b) 工具、ダイス及び鋳型
- (c) 設備及び建物の維持のために使用される予備部品及び材料
- (d) 生産の過程で使用され、又は設備及び建物の稼働のために使用される潤滑剤、グリース、コンペンウンド材その他の材料
- (e) 手袋、眼鏡、履物、衣類、安全のための設備及び備品
- (f) 製品の試験又は検査に使用される設備、装備及び備品
- (g) 触媒及び溶剤
- (h) 他の製品に組み込まれていないその他の製品であつて、当該他の製品の生産における使用が当該生産の一部であると合理的に示すことのできるもの

第三十五条 同一の又は交換可能な材料

同一の又は交換可能な材料が原産材料であるか否かについての決定は、輸出締約国において適用可能な又は実施されている在庫管理方式についての一般的に認められている会計原則を用いて行う。

第三十六条 運用上の証明手続

附属書四に規定する運用上の証明手続は、原産地証明書及び関連事項に関する手続について適用する。

2. For the purposes of this Article, the term "indirect materials" means goods used in the production, testing, or inspection of a good but not physically incorporated into the good, or goods used in the maintenance of buildings or the operation of equipment associated with the production of a good, including:

- (a) fuel and energy;
- (b) tools, dies and moulds;
- (c) spare parts and materials used in the maintenance of equipment and buildings;
- (d) lubricants, greases, compounding materials and other materials used in production or used to operate equipment and buildings;
- (e) gloves, glasses, footwear, clothing, safety equipment and supplies;
- (f) equipment, devices and supplies used for testing or inspecting the good;
- (g) catalysts and solvents; and
- (h) any other goods that are not incorporated into the good but whose use in the production of the good can reasonably be demonstrated to be a part of that production.

Article 35

Identical and Interchangeable Materials

The determination of whether identical and interchangeable materials are originating materials shall be made by the use of generally accepted accounting principles of stock control applicable, or those of inventory management practised, in the exporting Party.

Article 36

Operational Certification Procedures

The operational certification procedures, as set out in Annex 4, shall apply with respect to procedures regarding certificate of origin and related matters.

同一の又は交換可能な材料

運用上の証明手続

第三十七条 原産地規則に関する小委員会

- 1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、原産地規則に関する小委員会（以下「この条において「小委員会」という。）を第十一条の規定に従って設置する。
- 2 小委員会は、次の事項を任務とする。
 - (a) 次の事項に関し、見直しを行い、及び必要な場合には合同委員会に対し適当な勧告を行うこと。
 - (i) この章の規定の実施及び運用
 - (ii) いずれかの締約国が提案する附属書二及び附属書三並びに附属書四の付録の改正
 - (iii) 附属書四第十一規則に規定する運用上の規則
 - (b) この章の規定に関連する他の問題であつて全締約国が合意するものについて検討すること。
 - (c) 合同委員会に対し小委員会の所見を報告すること。
 - (d) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 小委員会は、全締約国政府の代表者から成るものとし、また、全締約国の合意に基づき、全締約国政府以外の関係団体の代表者であつて討議される問題に関連する必要な専門知識を有するものを招請する事ができる。
- 4 小委員会は、全締約国が合意する場所及び時期において会合する。

Article 37
Sub-Committee on Rules of Origin

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Rules of Origin (hereinafter referred to in this Article as "the Sub-Committee") shall be established pursuant to Article 11.
2. The functions of the Sub-Committee shall be to:
 - (a) review and make appropriate recommendations, as needed, to the Joint Committee on:
 - (i) the implementation and operation of this Chapter;
 - (ii) any amendments to Annexes 2 and 3, and Attachment to Annex 4, proposed by any Party; and
 - (iii) the Implementing Regulations referred to in Rule 11 of Annex 4;
 - (b) consider any other matter as the Parties may agree related to this Chapter;
 - (c) report the findings of the Sub-Committee to the Joint Committee; and
 - (d) carry out other functions as may be delegated by the Joint Committee pursuant to Article 11.
3. The Sub-Committee shall be composed of representatives of the Governments of the Parties, and may invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Parties with necessary expertise relevant to the issues to be discussed, upon agreement of all the Parties.
4. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

日ASEAN包括的経済連携協定

第四章 衛生植物検疫措置

衛生植物
検疫措置

第三十八条 適用範囲

適用範囲

この章の規定は、全締約国間の貿易に直接又は間接に影響を及ぼす可能性がある全締約国のすべての衛生植物検疫措置であって、世界貿易機関設立協定付属書一 A 衛生植物検疫措置の適用に関する協定（以下「衛生植物検疫措置の適用に関する協定」という。）（付属書 A に定義するものについて適用する。

第三十九条 権利及び義務の再確認

権利及び
義務の再
確認

全締約国は、衛生植物検疫措置の適用に関する協定の当事国である締約国間の同協定に基づく衛生植物検疫措置に関する権利及び義務を再確認する。

第四十条 衛生植物検疫措置に関する小委員会

衛生植物
検疫措置
に関する
小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、衛生植物検疫措置に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を第十一条の規定に従って設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

(a) 全締約国及び非締約国における衛生植物検疫に係る事件の発生並びに全締約国による衛生植物検疫に関する規制及び基準の変更又は導入（日本国と二以上のASEAN構成国である締約国との間の貿易に直接又は間接に影響を及ぼす可能性があるものに限る。）について情報の交換を行うこと。

(b) 各締約国の予算上の資金の利用可能性及び関係法令に従うことを条件として、衛生植物検疫措置の分野における協力（能力開発、技術援助及び専門家の交流を含む。）を円滑にすること。

(c) 衛生植物検疫措置の適用から生ずる可能性がある特定の問題であって、日本国及び二以上のASEAN構成国である締約国に共通するものを明らかにし、並びにこれに取り組むため、科学に立脚した協議を行うこと。

Chapter 4
Sanitary and Phytosanitary Measures

Article 38
Scope

This Chapter shall apply to all sanitary and phytosanitary (hereinafter referred to as "SPS") measures of the Parties as defined in Annex A of the Agreement on the Application of Sanitary and Phytosanitary Measures in Annex 1A to the WTO Agreement (hereinafter referred to as "SPS Agreement") that may, directly or indirectly, affect trade between the Parties.

Article 39
Reaffirmation of Rights and Obligations

The Parties reaffirm the rights and obligations relating to SPS measures under the SPS Agreement among those Parties that are parties to the said Agreement.

Article 40
Sub-Committee on Sanitary and Phytosanitary Measures

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Sanitary and Phytosanitary Measures (hereinafter referred to in this Article as "the Sub-Committee") shall be established pursuant to Article 11.

2. The functions of the Sub-Committee shall be to:

(a) exchange information on such matters as occurrences of SPS incidents in the Parties and non-Parties, and change or introduction of SPS-related regulations and standards of the Parties, which may, directly or indirectly, affect trade between Japan and more than one (1) ASEAN Member State which are the Parties;

(b) facilitate cooperation in the area of SPS measures, including capacity building, technical assistance and exchange of experts, subject to the availability of appropriated funds and the applicable laws and regulations of each Party;

(c) undertake science-based consultations to identify and address specific issues that may arise from the application of SPS measures and are shared by Japan and more than one (1) ASEAN Member State which are the Parties;

照 会 所

第九章の
規定の不
適用

任意規格、
強制規格、
及び適合
性評価手
続の目的

(d) この章の規定の実施及び運用について見直しを行うこと。

(e) 適当な場合には、合同委員会に対し小委員会の所見を報告すること。

3 全締約国は、衛生植物検疫措置の分野における全締約国の努力の不必要な重複を避け、及び当該努力の効率を最大にすることを目的として、自らの取組と、二国間の、地域的な及び多国間の活動との間の調整を行う。

4 小委員会は、全締約国が合意する場所及び時期において会合する。

5 (a) 小委員会は、衛生植物検疫措置について責任を負う全締約国政府の職員から成る。

(b) 小委員会は、日本国政府の職員及び一のASEAN構成国である締約国の政府の職員をその共同議長とする。

第四十一条 照会所

各締約国は、衛生植物検疫措置に関する他の締約国からの妥当な照会に応じ、及び適当な場合には当該他の締約国に対して関連する情報を提供する照会所を指定する。

第四十二条 第九章の規定の不適用

第九章に定める紛争解決手続は、この章の規定については、適用しない。

第五章 任意規格、強制規格及び適合性評価手続

第四十三条 目的

この章の規定は、次の事項によって全締約国間の貿易を促進することを目的とする。

(a) 任意規格、強制規格及び適合性評価手続が貿易に不必要な障害をもたらさないようたすことを確保すること。

日ASEAN包括的経済連携協定

(d) review the implementation and operation of this Chapter; and

(e) report, where appropriate, its findings to the Joint Committee.

3. The Parties shall coordinate their undertakings with the activities conducted in the bilateral, regional and multilateral context, with the objective of avoiding unnecessary duplication and maximising efficiency of efforts of the Parties in this field.

4. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

5. The Sub-Committee shall be:

(a) composed of government officials of the Parties with responsibility for SPS measures; and

(b) co-chaired by an official of the Government of Japan and an official of one of the Governments of the ASEAN Member States which are the Parties.

Article 41
Enquiry Points

Each Party shall designate an enquiry point to answer all reasonable enquiries from another Party regarding SPS measures and, if appropriate, provide the latter with relevant information.

Article 42
Non-application of Chapter 9

The dispute settlement procedures provided for in Chapter 9 shall not apply to this Chapter.

CHAPTER 5
Standards, Technical Regulations and
Conformity Assessment Procedures

Article 43
Objectives

The objectives of this Chapter are to promote trade among the Parties by:

(a) ensuring that standards, technical regulations and conformity assessment procedures do not create unnecessary obstacles to trade;

日ASEAN包括的経済連携協定

- (b) 各締約国内の任意規格、強制規格及び適合性評価手続についての相互理解を促進すること。
- (c) 任意規格、強制規格及び適合性評価手続の立案、制定及び適用について全締約国間の情報交換及び協力を強化すること。
- (d) 標準化及び適合性評価手続に関する国際的な団体の作業において全締約国間の協力を強化すること。
- (e) この条に規定する目的を実現するための枠組みを提供すること。

適用範囲

第四十四条 適用範囲

- 1 この章の規定は、世界貿易機関設立協定附属書一A貿易の技術的障害に関する協定（以下「貿易の技術的障害に関する協定」という。）に定義する任意規格、強制規格及び適合性評価手続について適用する。
- 2 この章の規定は、政府機関が自らの生産又は消費の必要上作成する購入仕様及び衛生植物検疫措置の適用に関する協定附属書Aに定義する衛生植物検疫措置については、適用しない。
- 3 この章のいかなる規定も、正当な目的の達成のために必要な限度において、任意規格及び強制規格を立案し、制定し、及び適用する締約国の権利を制限するものではない。正当な目的とは、特に、国家の安全保障上の必要、詐欺的な行為の防止及び人の健康若しくは安全の保護、動物若しくは植物の生命若しくは健康の保護又は環境の保全をいう。このために各締約国は、自国の法令及び運用規則を解釈するすべての権限を保持する。

第四十五条 権利及び義務の再確認

全締約国は、貿易の技術的障害に関する協定の当事国である締約国間の同協定に基づく任意規格、強制規格及び適合性評価手続に関する権利及び義務を再確認する。

権利及び義務の再確認

- (b) promoting mutual understanding of the standards, technical regulations and conformity assessment procedures in each Party;
- (c) strengthening information exchange and cooperation among the Parties in relation to the preparation, adoption and application of standards, technical regulations and conformity assessment procedures;
- (d) strengthening cooperation among the Parties in the work of international bodies related to standardisation and conformity assessments; and
- (e) providing a framework to realise these objectives.

Article 44
Scope

1. This Chapter shall apply to standards, technical regulations and conformity assessment procedures as defined in the Agreement on Technical Barriers to Trade in Annex 1A to the WTO Agreement (hereinafter referred to as "TBT Agreement").
2. This Chapter shall not apply to purchasing specifications prepared by governmental bodies for production or consumption requirements of governmental bodies and sanitary and phytosanitary measures as defined in Annex A of the SPS Agreement.
3. Nothing in this Chapter shall limit the right of a Party to prepare, adopt and apply standards and technical regulations, to the extent necessary, to fulfil a legitimate objective. Such legitimate objectives are, *inter alia*, national security requirements; the prevention of deceptive practices; protection of human health or safety, animal or plant life or health, or the environment. In pursuance of this, each Party retains all authority to interpret its laws, regulations and administrative provisions.

Article 45
Reaffirmation of Rights and Obligations

The Parties reaffirm the rights and obligations relating to standards, technical regulations and conformity assessment procedures under the TBT Agreement among those Parties that are parties to the said Agreement.

第四十六条 協力

1 全締約国は、任意規格、強制規格及び適合性評価手続が全締約国間の物品の貿易に不必要な障害をもたらすことのないようにすることを確保するため、可能な場合には、任意規格、強制規格及び適合性評価手続の分野において協力する。

2 1の規定に基づく協力の形態には、次の事項を含めることができる。

- (a) 各締約国内の任意規格、強制規格及び適合性評価手続についての相互理解を増進させるため、共同研究を行い、及びセミナーを開催すること。
- (b) 任意規格、強制規格及び適合性評価手続について情報の交換を行うこと。
- (c) 貿易の技術的障害に関する協定の対象とされている活動の発展のために、全締約国における能力を開発し、及び向上させるための共同計画を作成し、及び実施すること。
- (d) 各締約国内の任意規格、強制規格及び適合性評価手続について責任を負う団体が相互に関心を有する事項について協力することを奨励すること。
- (e) 適当な場合には、国際的な場及び地域的な場において任意規格、強制規格及び適合性評価手続に関する活動に共同で貢献すること。
- (f) 適当な場合には、全締約国間の貿易に対する不必要な障害を避けるために任意規格、強制規格及び適合性評価手続の分野に関する作業を共同で明らかにすること。

3 この条の規定の実施は、各締約国の予算上の資金の利用可能性及び関係法令に従うことを条件とする。

第四十七条 照会所

1 各締約国は、この章の規定の実施の調整について責任を負う照会所を指定する。

日ASEAN包括的経済連携協定

Article 46
Cooperation

1. For the purposes of ensuring that standards, technical regulations and conformity assessment procedures do not create unnecessary obstacles to trade in goods among the Parties, the Parties shall, where possible, cooperate in the field of standards, technical regulations and conformity assessment procedures.

2. The forms of cooperation pursuant to paragraph 1 may include the following:

- (a) conducting joint studies and holding seminars, in order to enhance mutual understanding of standards, technical regulations and conformity assessment procedures in each Party;
- (b) exchanging information on standards, technical regulations and conformity assessment procedures;
- (c) developing and implementing joint programmes for building and/or upgrading capacity in the Parties for advancement of activities within the scope of the TBT Agreement;
- (d) encouraging the bodies responsible for standards, technical regulations and conformity assessment procedures in each Party to cooperate on matters of mutual interest;
- (e) contributing, where appropriate, jointly to the activities related to standards, technical regulations and conformity assessment procedures in international and regional fora; and
- (f) jointly identifying work in the field of standards, technical regulations and conformity assessment procedures, where appropriate, to avoid unnecessary obstacle to trade among the Parties.

3. The implementation of this Article shall be subject to the availability of appropriated funds and the applicable laws and regulations of each Party.

Article 47
Enquiry Points

1. Each Party shall designate an enquiry point which shall have the responsibility to coordinate the implementation of this Chapter.

任意規格
強制規格
及び適合
性評価手
続に關す
る小委員
会

2 各締約国は、他の締約国に対し自国の指定された照会所の名称及び当該照会所の関係職員との連絡先についての詳細（電話、ファクシミリ、電子メールその他の関連する詳細についての情報を含む）を通報する。

3 各締約国は、他の締約国に対し自国の照会所の変更及び関係職員の情報の修正を速やかに通報する。

第四十八条 任意規格、強制規格及び適合性評価手続に関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運用するため、任意規格、強制規格及び適合性評価手続に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を第十一条の規定に従って設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

- (a) 第四十六条の規定に基づく協力を調整すること。
 - (b) 協力の強化のために相互に合意する優先分野を明らかにすること（締約国から提起されるいかなる提案に対しても好意的な考慮を払うことを含む。）。
 - (c) 適合性評価の結果及び強制規格の同等性の受入れを円滑にするため、相互に合意する優先分野における事業計画を作成すること。
 - (d) 事業計画の進捗状況を監視すること。
 - (e) この章の規定の実施及び運用について見直しを行うこと。
 - (f) 技術的な協議を円滑にすること。
 - (g) 適当な場合には、合同委員会に対し小委員会の所見を報告すること。
 - (h) 合同委員会が第十一条の規定に基づいて委任するその他の任務を遂行すること。
- 3 小委員会は、全締約国が合意する場所及び時期において会合する。

2. Each Party shall provide the other Parties with the name of its designated enquiry point and the contact details of relevant officials in that organisation including information on telephone, facsimile and e-mail and other relevant details.

3. Each Party shall notify the other Parties promptly of any change of its enquiry point or any amendments to the information of the relevant officials.

Article 48
Sub-Committee on Standards, Technical Regulations
and Conformity Assessment Procedures

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Standards, Technical Regulations and Conformity Assessment Procedures (hereinafter referred to in this Article as "the Sub-Committee") shall be established pursuant to Article 11.

2. The functions of the Sub-Committee shall be to:

- (a) coordinate cooperation pursuant to Article 46;
 - (b) identify mutually agreed priority sectors for enhanced cooperation, including giving favourable consideration to any proposal made by a Party;
 - (c) establish work programmes in mutually agreed priority areas to facilitate the acceptance of conformity assessment results and equivalence of technical regulations;
 - (d) monitor the progress of work programmes;
 - (e) review the implementation and operation of this Chapter;
 - (f) facilitate technical consultations;
 - (g) report, where appropriate, its findings to the Joint Committee; and
 - (h) carry out other functions as may be delegated by the Joint Committee pursuant to Article 11.
3. The Sub-Committee shall meet at such venues and times as may be agreed by the Parties.

4 全締約国は、任意規格、強制規格及び適合性評価手続の分野における全締約国の努力の不必要な重複を避け、及び当該努力の効率を最大にすることを目的として、自らの取組と、二国間の、地域的な及び多国間の活動との間の調整を行う。

5 (a) 小委員会は、全締約国政府の代表者から成る。

(b) 小委員会は、日本国政府の職員及び一のASEAN構成国である締約国の政府の職員をその共同議長とする。

第四十九条 第九章の規定の不適用

第九章に定める紛争解決手続は、この章の規定については、適用しない。

第六章 サービスの貿易

第五十条 サービスの貿易

1 各締約国は、自国の法令及び政策に従って、全締約国間のサービスの貿易の拡大に向けた更なる行動であって、サービス貿易一般協定に適合するものとするに努める。

2 全締約国は、日本国及び全ASEAN構成国の間のサービスの貿易の一層の自由化及び円滑化のための措置を検討するため、並びに日本国及び全ASEAN構成国のサービス及びサービス提供者の効率性及び競争力を向上させるための協力を強化するため、日本国及び全ASEAN構成国の参加を得て、サービスの貿易に関する規定について引き続き討議し、及び交渉する。このため、第七十九条1の規定に従って、この協定が効力を生ずる日から一年以内に、日本国政府及び全ASEAN構成国政府の代表者から成るサービスの貿易に関する小委員会を第十一条の規定に従って設置する。

3 2に規定する交渉により結果が出る場合には、その結果は、第七十七条の規定に従ってこの章に組み込まれる。

日ASEAN包括的経済連携協定

4. The Parties shall coordinate their undertakings with the activities conducted in the bilateral, regional and multilateral context, with the objective of avoiding unnecessary duplication and maximising efficiency of efforts of the Parties in this field.

5. The Sub-Committee shall be:

(a) composed of representatives of the Governments of the Parties; and

(b) co-chaired by an official of the Government of Japan and an official of one of the Governments of the ASEAN Member States, which are the parties.

Article 49

Non-application of Chapter 9

The dispute settlement procedures provided for in Chapter 9 shall not apply to this Chapter.

Chapter 6

Trade in Services

Article 50

Trade in Services

1. Each Party shall endeavour to, in accordance with its laws, regulations and policies, take further steps towards the expansion of trade in services among or between the Parties consistent with GATS.

2. The Parties shall, with the participation of Japan and all ASEAN Member States, continue to discuss and negotiate provisions for trade in services with a view to exploring measures towards further liberalisation and facilitation of trade in services among Japan and ASEAN Member States and to enhance cooperation in order to improve the efficiency and competitiveness of services and service suppliers of Japan and the ASEAN Member States. For this purpose, a Sub-Committee on Trade in Services, which shall be composed of representatives of the Governments of Japan and all ASEAN Member States, shall be established in accordance with Article 11 within one (1) year from the date of entry into force of this Agreement pursuant to paragraph 1 of Article 79.

3. The results of the negotiations referred to in paragraph 2, if any, shall be incorporated into this Chapter in accordance with Article 77.

日ASEAN包括的経済連携協定

第七章 投資

第五十一条 投資

1 各締約国は、自国の法令及び政策に従つて、他の締約国の投資家の投資財産のための良好な、かつ、透明性のある条件を自国内に醸成し、及び維持することに努める。

2 全締約国は、投資の漸進的な自由化、促進、円滑化及び保護を通じて日本国及び全ASEAN構成国の投資環境の効率性及び競争力を向上させるため、日本国及び全ASEAN構成国の参加を得て、投資に関する規定について引き続き討議し、及び交渉する。このため、第七十九条1の規定に従つてこの協定が効力を生ずる日から一年以内に、日本国政府及び全ASEAN構成国政府の代表者から成る投資に関する小委員会を第十一條の規定に従つて設置する。

3 2に規定する交渉により結果が出る場合には、その結果は、第七十七条の規定に従つてこの章に組み込まれる。

第八章 経済的協力

第五十二条 基本原則

1 全締約国は、資源の利用可能性及び自国の関係法令に従うことを条件として、全ASEAN構成国間における経済開発の異なる水準を考慮しつつ、全締約国間の貿易及び投資を自由化し、及び円滑化し、並びに全締約国の国民の福祉を増進することを目的として、この協定に基づく協力であつて相互の利益に資するものを促進する。

2 全締約国は、能力開発、技術援助及び全締約国が相互に合意するその他の活動を含む経済的協力に関する活動を通じて、地域の一部又は一部にわたる開発を促進する。

Chapter 7 Investment

Article 51 Investment

1. Each Party shall endeavour to, in accordance with its laws, regulations and policies, create and maintain favourable and transparent conditions in the Party for investments of investors of the other Parties.

2. The Parties shall, with the participation of Japan and all ASEAN Member States, continue to discuss and negotiate provisions for investment, with a view to improving the efficiency and competitiveness of the investment environment of Japan and ASEAN Member States through progressive liberalisation, promotion, facilitation and protection of investment. For this purpose, a Sub-Committee on Investment, which shall be composed of the representatives of the Governments of Japan and all ASEAN Member States, shall be established in accordance with Article 11 within one (1) year from the date of entry into force of this Agreement pursuant to paragraph 1 of Article 79.

3. The results of the negotiations referred to in paragraph 2, if any, shall be incorporated into this Chapter in accordance with Article 77.

Chapter 8 Economic Cooperation

Article 52 Basic Principles

1. The Parties shall, subject to the availability of resources as well as their respective applicable laws and regulations, promote cooperation under this Agreement for their mutual benefits in order to liberalise and facilitate trade and investment among the Parties and to promote the well-being of the peoples of the Parties, taking into account the different levels of economic development among ASEAN Member States.

2. The Parties shall promote regional and sub-regional development through economic cooperation activities including capacity building, technical assistance, and other such activities as may be mutually agreed upon among the Parties.

経済的協力の分野

第五十三条 経済的協力の分野

1 全締約国は、相互の利益に基づいて、次の分野の経済的協力に関する活動を検討し、及び実施する。

- (a) 貿易に関連する手続
- (b) ビジネス環境
- (c) 知的財産
- (d) エネルギー
- (e) 情報通信技術
- (f) 人材養成
- (g) 中小企業
- (h) 観光及び接客
- (i) 運輸及び物流管理
- (j) 農業、漁業及び林業
- (k) 環境
- (l) 競争政策
- (m) 全締約国が相互に合意するその他の分野

第五十四条 経済的協力に関する小委員会

1 この章の規定を効果的に実施し、及び運営するため、第七十九条1の規定に従ってこの協定が効力を生ずる日に、経済的協力に関する小委員会（以下この条において「小委員会」という。）を第十一条の規定に従って設置する。

2 小委員会は、次の事項を任務とする。

- (a) 経済的協力の各分野の範囲及び形態を定める関連の事業計画を修正し、及び作成する。

Article 53
Fields of Economic Cooperation

The Parties, on the basis of mutual benefit, shall explore and undertake economic cooperation activities in the following fields:

- (a) Trade-Related Procedures;
- (b) Business Environment;
- (c) Intellectual Property;
- (d) Energy;
- (e) Information and Communications Technology;
- (f) Human Resource Development;
- (g) Small and Medium Enterprises;
- (h) Tourism and Hospitality;
- (i) Transportation and Logistics;
- (j) Agriculture, Fisheries and Forestry;
- (k) Environment;
- (l) Competition Policy; and
- (m) Other fields as may be mutually agreed upon among the Parties.

Article 54
Sub-Committee on Economic Cooperation

1. For the purposes of the effective implementation and operation of this Chapter, a Sub-Committee on Economic Cooperation (hereinafter referred to in this Article as "the Sub-Committee") shall be established in accordance with Article 11 on the date of entry into force of this Agreement pursuant to paragraph 1 of Article 79.

2. The functions of the Sub-Committee shall be to:

- (a) modify and formulate relevant Work Programmes setting out areas and forms of each field of economic cooperation;

経済的協
力に関す
る小委員
会

日ASEAN包括的経済連携協定

- (b) 全締約国の優先度に従い、この章の規定に基づく既存の及び新規の経済的協力に関する活動についての勧告を行うこと。
 - (c) この章の規定の実施及び運用並びにこの章の基本原則の適用及び遂行について見直し及び監視を行うこと。
 - (d) 合同委員会に対し、所見及び討議の結果を報告すること。
- 3 (a) 小委員会は、日本国政府及び全ASEAN構成国政府の代表者から成る。
- (b) 小委員会は、日本国政府の職員及び一のASEAN構成国である締約国の政府の職員をその共同議長とする。

第五十五条 経済的協力のための事業計画

- 1 協力に関する活動の各分野の範囲及び形態を定める事業計画は、附属書五で定めるものとする。
- 2 既存の事業計画の修正又は新規の事業計画の作成は、前条2の規定に従って行い、かつ、第七十七条に規定する手続に従って附属書五を改正することを通じて行う。

第五十六条 経済的協力のための資源

この章の規定に基づく経済的協力のための資源は、全締約国間における経済開発及び能力の異なる水準を考慮しつつ、全締約国が相互に合意する方法で提供する。

第五十七条 経済的協力に関する活動の実施

- 1 経済的協力に関する活動は、日本国及び少なくとも二のASEAN構成国によって行うものとす。
- 2 1の規定にかかわらず、本質的に地域的な性質を有する経済的協力に関する活動であつて、他のASEAN構成国にとって利益となるものについては、日本国及び一のASEAN構成国によつても行うことができる。

経済的協力のための資源の活用と実施

経済的協力のための事業計画の画

- (b) make recommendations on existing and new economic cooperation activities under this Chapter in accordance with the priorities of the Parties;
 - (c) review and monitor the implementation and operation of this Chapter and the application and fulfilment of its basic principles; and
 - (d) report the findings and the outcome of its discussions to the Joint Committee.
3. The Sub-Committee shall be:
- (a) composed of representatives of the Governments of Japan and all ASEAN Member States; and
 - (b) co-chaired by an official of the Government of Japan and an official of one of the Governments of ASEAN Member States.

Article 55
Work Programmes for Economic Cooperation

1. Work Programmes setting out areas and forms of each field of cooperation activities shall be set forth in Annex 5.
2. Any modification of existing Work Programmes or formulation of new Work Programmes shall be made in accordance with paragraph 2 of Article 54 and through amending Annex 5 pursuant to the procedures set out in Article 77.

Article 56
Resources for Economic Cooperation

Taking into account the different levels of economic development and capacity among the Parties, resources for economic cooperation under this Chapter shall be provided in such a manner as may be mutually agreed upon among the Parties.

Article 57
Implementation of Economic Cooperation Activities

1. Economic cooperation activities shall involve Japan and at least two (2) ASEAN Member States.
2. Notwithstanding paragraph 1, economic cooperation activities may also involve Japan and one (1) ASEAN Member State, provided that those activities are regional in nature and of benefit to other ASEAN Member States. Such

次章の規定の適用
紛争解決
定義

できる。当該活動は、全ASEAN構成国間における経済開発の格差の縮小又はASEANの更なる統合に向けた全ASEAN構成国の国民の福祉の増進を目指すものとする。

3 全締約国は、相互に合意する時期に経済的協力に関する活動を実施する。

第五十八条 次章の規定の不適用

次章に定める紛争解決手続は、この章の規定については、適用しない。

第九章 紛争解決

第五十九条 定義

この章の規定の適用上、

(a) 「申立国」とは、第六十二条1の規定に基づいて協議を要請する一又は二以上の締約国をいう。

(b) 「紛争当事国」とは、申立国又は被申立国である締約国をいう。

(c) 「被申立国」とは、第六十二条1の規定に基づいて協議を要請される一又は二以上の締約国をいう。

(d) 「第三国」とは、紛争当事国以外の締約国であって、自国の利害関係を第六十六条の規定に基づいて書面により通報するものをいう。

第六十条 適用範囲

1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、この章の規定は、この協定の解釈又は適用に関する全締約国間のすべての紛争の解決について適用する。

2 この章の規定は、締約国内の地域又は地方の政府又は機関によりとられる措置であって、当該締約国によるこの協定の遵守に影響を及ぼすものについて、適用することができる。仲裁裁判所が第六十七条の規定に従ってこの協定の規定が遵守されていない旨の裁定を行う場合には、責任を有する締約国は、その遵守を確保するために利用することができる妥当な措置をとる。当該締約国がそのような遵守を確保する、

日ASEAN包括的経済連携協定

activities shall aim at narrowing the gaps of economic development among ASEAN Member States or at promoting the well-being of the people of ASEAN Member States towards further integration of ASEAN.

3. The Parties shall undertake economic cooperation activities at mutually agreed time.

Article 58

Non-application of Chapter 9

The dispute settlement procedures provided for in Chapter 9 shall not apply to this Chapter.

Chapter 9

Settlement of Disputes

Article 59

Definitions

For the purposes of this Chapter, the term:

(a) "complaining party" means any Party or Parties that request consultations under paragraph 1 of Article 62;

(b) "party to a dispute" means any Party which is a complaining party or a party complained against;

(c) "party complained against" means any Party or Parties to which the request for consultations is made under paragraph 1 of Article 62; and

(d) "third party" means a Party, other than the parties to a dispute, that notifies its interest in writing in accordance with Article 66.

Article 60

Scope of Application

1. Unless otherwise provided for in this Agreement, this Chapter shall apply with respect to the settlement of all disputes between the Parties concerning the interpretation or application of this Agreement.

2. This Chapter may apply to measures affecting a Party's observance of this Agreement taken by regional or local governments or authorities within the Party. When the arbitral tribunal has awarded that a provision of this Agreement has not been observed in accordance with Article 67, the responsible Party shall take such reasonable measures as may be available to it to ensure its

日ASEAN包括的経済連携協定

とができなかった場合には、第七十一条3及び4の規定を適用する。

3 この章のいかなる規定も、すべての紛争当事国が締結している他の国際協定により利用可能な紛争解決手続を利用する全締約国の権利を害するものではない。

4 3の規定にかかわらず、特定の紛争に関し、この章の規定又はすべての紛争当事国が締結している他の国際協定に従って紛争解決手続が開始された場合には、当該特定の紛争に関し申立国により選定された手続以外の手続を利用することはできない。ただし、別個の国際協定に基づく権利又は義務で実質的に異なるものについて争われるときは、この限りでない。

5 3及び4の規定の適用上、申立国は、この章の規定又はすべての紛争当事国が締結している他の国際協定に従って仲裁裁判所又は紛争解決委員会の設置を要請し、又はこれらに紛争を付託したとき、当該手続を選定したものとみなす。

連絡部局

第六十一条 連絡部局

1 この章の規定の適用上、締約国は、この章に規定するすべての事項に関する連絡について責任を負う連絡部局を指定することができる。この章の規定に基づく要請、通報その他の文書であつて、指定された連絡部局に対して提出されたものは、当該締約国に対して提出されたものとみなす。

2 締約国が1の規定に基づき連絡部局を指定しない場合には、この章の規定に基づく要請、通報その他の文書は、第十二条の規定に従って当該締約国が指定した連絡部局に対して提出されなければならない。

3 この章の規定に基づく要請、通報その他の文書を受領した締約国は、書面により受領を確認する。

observance. Paragraphs 3 and 4 of Article 71 shall apply in cases where it has not been possible for the Party to secure such observance.

3. Nothing in this Chapter shall prejudice any rights of the Parties to have recourse to dispute settlement procedures available under any other international agreement to which all of the parties to a dispute are parties.

4. Notwithstanding paragraph 3, once dispute settlement proceedings have been initiated under this Chapter or under any other international agreement to which all of the parties to a dispute are parties with respect to a particular dispute, the forum selected by the complaining party shall be used to the exclusion of any other fora for that particular dispute. However, this shall not apply if substantially separate and distinct rights or obligations under different international agreements are in dispute.

5. For the purposes of paragraphs 3 and 4, the complaining party shall be deemed to have selected a forum when it has requested the establishment of, or referred a dispute to, an arbitral tribunal or a dispute settlement panel, in accordance with this Chapter or any other international agreement to which the parties to a dispute are parties.

Article 61
Contact Points

1. For the purposes of this Chapter, a Party may designate a contact point responsible for communications on all matters referred to in this Chapter. The submission of any request, notice or other document under this Chapter to the contact point so designated shall be deemed to have been made to that Party.

2. Where a Party chooses not to designate a contact point pursuant to paragraph 1, the submission of any request, notice or other document under this Chapter shall be made to the contact point which the Party designates in accordance with Article 12.

3. Any Party receiving any request, notice or other document under this Chapter shall acknowledge receipt in writing.

第六十二条 協議

- 1 一又は二以上の締約国は、この協定の解釈又は適用に関するいかなる問題についても、他の一又は二以上の締約国に対し書面により協議を要請することができる。ただし、被申立国がこの協定に基づく義務の履行を怠った結果又はこの協定に基づく義務に反する措置をとった結果、申立国が、この協定に基づいて自国に与えられた利益が無効にされ、又は侵害されていると認める場合に限る。
- 2 協議の要請は、書面により提出されるものとし、並びに問題となっている特定の措置並びに申立ての根拠とされる事実及び法的根拠（違反があったとされるこの協定の規定その他関連するこの協定の規定を含む。）を示すものとする。申立国は、被申立国以外の全締約国に対して同時に同様の通報を行う。
- 3 被申立国は、1に規定する要請を受領した場合には、申立国及び申立国以外の全締約国に対し当該要請の受領を速やかに確認する。
- 4 協議の要請が行われる場合には、被申立国は、当該要請を受領した日の後十日以内に当該要請に対して回答し、かつ、相互に満足すべき解決を得るため、当該要請を受領した日の後三十日以内に誠実に協議を開始する。
- 5 紛争当事国は、この条の規定に基づく協議によりいかなる問題についても相互に満足すべき解決を得るため、あらゆる努力を払う。このため、紛争当事国は、紛争の十分な検討を可能とする十分な情報を相互に提供する。
- 6 協議は、紛争当事国間で秘密とされ、かつ、この章の規定に従って進められるその後の手続又は他の手続においていずれの締約国の権利も害するものではない。紛争当事国は、協議の結果を紛争当事国以外の全締約国に通報する。
- 7 緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には、紛争当事国は、被申立国が要請を受領した日の後十日以内に協議を開始する。

日ASEAN包括的経済連携協定

Article 62
Consultations

1. A Party or Parties may make a request in writing for consultations to other Party or Parties concerning any matter on the interpretation or application of this Agreement where the complaining party considers that any benefit accruing to it under this Agreement is being nullified or impaired as a result of the failure of the party complained against to carry out its obligations under this Agreement, or as a result of the application by the party complained against of measures which are in conflict with its obligations under this Agreement.
2. Any request for consultations shall be submitted in writing, containing the identification of the specific measures at issue and indication of the factual and legal basis (including the provisions of this Agreement alleged to have been breached and any other relevant provisions) of the complaint. The complaining party shall at the same time notify the rest of the Parties thereof.
3. Upon receipt of the request referred to in paragraph 1, the party complained against shall promptly acknowledge receipt of such request to the complaining party and the rest of the Parties at the same time.
4. If a request for consultations is made, the party complained against shall reply to the request within ten (10) days after the date of receipt of the request and shall enter into consultations in good faith within a period of not more than thirty (30) days after the date of receipt of the request, with a view to reaching a mutually satisfactory solution.
5. The parties to a dispute shall make every effort to reach a mutually satisfactory resolution of any matter through consultations under this Article. To this end, the parties to the dispute shall provide each other with sufficient information to enable a full examination of the dispute.
6. Consultations shall be confidential between the parties to the dispute and are without prejudice to the rights of any Party in any further proceedings under this Chapter or in other proceedings. The parties to the dispute shall inform the rest of the Parties of the outcome of the consultations.
7. In cases of urgency, including those which concern perishable goods, the parties to the dispute shall enter into consultations within a period of no more than ten (10)

8 緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には、紛争当事国は、最大限可能な限り、協議が速やかに行われるようあらゆる努力を払う。

第六十三条 あっせん、調停及び仲介

1 あっせん、調停及び仲介は、紛争当事国の合意がある場合において任意に行われる手続である。

2 いずれの紛争当事国も、あっせん、調停又は仲介を随時要請することができる。いずれの手続も、紛争当事国の合意により、いつでも開始することができるものとし、また、いずれかの紛争当事国の要請により、いつでも終了することができる。

3 紛争当事国が合意する場合には、この章に定める仲裁裁判手続の進行中においても、あっせん、調停又は仲介を継続することができる。

4 あっせん、調停又は仲介に係る手続の過程（特にこれらの手続の過程において紛争当事国がとる立場）は、秘密とされ、かつ、この章の規定に従って進められるその後の手続又は他の手続においていずれの締約国の権利も害するものではない。

第六十四条 仲裁裁判所の設置

1 申立国は、次のいずれかの場合には、被申立国に対し書面により仲裁裁判所の設置を要請する（以下「要請」という。）ことができる。

(a) 被申立国が協議の要請を受領した日の後十日以内に回答しない場合又は当該日の後三十日以内に協議を開始しない場合

(b) 協議の要請が受領された日の後六十日以内に、又は緊急の場合（腐敗しやすい物品に関する場合等）には二十日以内に、紛争当事国が協議により紛争を解決することができない場合

days after the date of receipt of the request by the party complained against.

8. In cases of urgency, including those which concern perishable goods, the parties to the dispute shall make every effort to accelerate the consultations to the greatest extent possible.

Article 63
Good Offices, Conciliation and Mediation

1. Good offices, conciliation and mediation are procedures that are undertaken voluntarily if the parties to the dispute so agree.

2. Good offices, conciliation or mediation may be requested at any time by any party to a dispute. They may begin at any time by agreement of the parties to the dispute and be terminated at any time upon the request of any party to the dispute.

3. If the parties to the dispute agree, good offices, conciliation or mediation may continue while the proceedings of the arbitral tribunal provided for in this Chapter are in progress.

4. Proceedings involving good offices, conciliation or mediation, and, in particular, positions taken by the parties to the dispute during these proceedings, shall be kept confidential and without prejudice to the rights of any Party in any proceedings under this Chapter or in other proceedings.

Article 64
Establishment of Arbitral Tribunals

1. The complaining party may request in writing, to the party complained against, the establishment of an arbitral tribunal:

(a) if the party complained against does not respond within ten (10) days, or does not enter into such consultations within thirty (30) days after the date of receipt of the request for such consultations; or

(b) if the parties to the dispute fail to resolve the dispute through such consultations within sixty (60) days after the date of receipt of the request for such consultations, or within twenty (20) days after such date in cases of urgency including those which concern perishable goods.

あっせん、
調停及び
仲介

仲裁裁判
所の設置

- 2 1に規定する仲裁裁判所の設置の要請の写しは、被申立国以外の全締約国にも送付するものとする。
- 3 二以上の申立国が同一の問題について仲裁裁判所の設置を要請する場合には、各紛争当事国の権利を考慮した上、紛争当事国は、実行可能な場合には、その問題を検討するために単一の仲裁裁判所を設置することができる。
- 4 3の規定に基づいて単一の仲裁裁判所が設置される場合には、仲裁裁判所は、別々の仲裁裁判所が当該同一の問題を検討したならば紛争当事国が有したであろう権利がいかなる意味においても侵害されることのないように、検討を行い、かつ、認定をすべての紛争当事国に提出する。いずれかの紛争当事国が要請する場合には、仲裁裁判所は、裁定を下す期間が許す限りにおいて、自己の取り扱う紛争について別々の裁定を下すことができる。いずれの紛争当事国も、他の紛争当事国の意見書を入力することができないものとし、かつ、他の紛争当事国が仲裁裁判所において意見を表明する場合には、当該仲裁裁判所に出席する権利を有する。
- 5 同一の問題に関する紛争を検討するために二以上の仲裁裁判所が設置される場合には、紛争当事国は、最大限可能な限り、同一の者をそれぞれの仲裁裁判所の仲裁人として選任する。
- 6 仲裁裁判所の設置の要請には、第六十二条の規定に基づく協議が行われたという事実の有無及び申立ての根拠とされる事実（問題となっている特定の措置を含む。）を明示するとともに、申立ての法的根拠（違反があったとされるこの協定の規定その他関連するこの協定の規定を含む。）を付する。

第六十五条 仲裁裁判所の構成

- 1 仲裁裁判所は、三人の仲裁人で構成する。
- 2 申立国及び被申立国は、仲裁裁判所の設置の要請が受領された日の後三十日以内にそれぞれ一人の仲裁人を任命し（いずれかの紛争当事国の国民を任命することができる。）、及び裁判長となる第三の仲裁人の候補者を三人まで提案する。第三の仲裁人は、いずれかの紛争当事国の国民であってはならず、いずれかの紛争当事国に日常の住居を有してはならず、いずれかの紛争当事国により雇用されてはならず、及び

日ASEAN包括的経済連携協定

2. A copy of the request referred to in paragraph 1 shall also be communicated to the rest of the Parties.
3. Where more than one (1) complaining party request the establishment of an arbitral tribunal related to the same matter, a single arbitral tribunal may, whenever feasible, be established by the parties to the dispute to examine the matter, taking into account the rights of each party to the dispute.
4. Where a single arbitral tribunal is established pursuant to paragraph 3, the arbitral tribunal shall organise its examination and present its findings to all the parties to the dispute in such a manner that the rights which the parties to the dispute would have enjoyed had separate arbitral tribunals examined the same matter are in no way impaired. If any of the parties to the dispute so requests, the arbitral tribunal may make separate awards on the dispute concerned as long as the timeframe for making the awards so permits. The written submissions by a party to the dispute shall be made available to the other parties to the dispute, and each party to the dispute shall have the right to be present when any other party to the dispute presents its views to the arbitral tribunal.
5. Where more than one (1) arbitral tribunal are established to examine the dispute related to the same matter, to the greatest extent possible, the same persons shall be appointed by the parties to the disputes to serve on each of the separate arbitral tribunals.
6. Any request for the establishment of an arbitral tribunal shall indicate whether consultations under Article 62 have been held, identify the factual basis for the complaint including the specific measures at issue and provide the legal basis of the complaint including the provisions of this Agreement alleged to have been breached and any other relevant provisions.

Article 65
Composition of Arbitral Tribunals

1. An arbitral tribunal shall consist of three (3) arbitrators.
2. The complaining party and the party complained against shall, within thirty (30) days after the date of receipt of the request for the establishment of an arbitral tribunal, each appoint one (1) arbitrator who may be a national of any party to the dispute and propose up to three (3) candidates to serve as the third arbitrator who shall be the chair of the arbitral tribunal. The third arbitrator

いかなる資格においても対象となる紛争を取り扱ったことがあつてはならない。

3 申立国及び被申立国は、仲裁裁判所の設置の要請が受領された日の後四十五日以内に、2の規定により提案された候補者を考慮して、第三の仲裁人を合意により任命する。申立国若しくは被申立国のいずれかが2の規定により仲裁人を任命しなかった場合又は紛争当事国がこの3の規定により第三の仲裁人を合意により任命することができない場合には、世界貿易機関の事務局長に対し、必要な任命をするよう直ちに要請するものとする。当該事務局長がいずれかの紛争当事国の国民である場合には、事務次長又は次の地位の職員のいずれかのうちいずれかの紛争当事国の国民でない者に対し、必要な任命をするよう要請するものとする。この3の規定により行われる任命であつて、第三の仲裁人に係るもの以外のものは、仲裁人を任命しなかった申立国又は被申立国によつて行われたものとみなす。

4 仲裁裁判所の設置の日は、3の規定により第三の仲裁人が任命された日とする。

5 この条の規定により任命された仲裁人が、辞任し、又は職務を行うことがでなくなつた場合には、後任の仲裁人を元の仲裁人の任命に係る規定と同様の方法で任命する。後任の仲裁人は、元の仲裁人のすべての権限及び任務を有するものとする。仲裁裁判所の検討は、後任の仲裁人が任命される時まで停止されるものとする。

6 仲裁人として任命される者は、法律、国際貿易その他この協定が対象とする問題又は国際的な貿易協定から生ずる紛争の解決についての専門知識又は経験を有するものとする。仲裁人は、厳に客観性、信頼性、判断の健全性及び独立性を基準として選任され、仲裁裁判手続を通じてこれらと同じ基準に従つて行動するものとする。仲裁人がこれらの基準に従っていないといずれかの紛争当事国により認められる場合は、紛争当事国は、協議し、合意する場合には、当該仲裁人を解任し、新たな仲裁人をこの条の規定に従つて任命する。

shall not be a national of any party to the dispute, nor have his or her usual place of residence in any party to the dispute, nor be employed by any party to the dispute, nor have dealt with the dispute in any capacity.

3. The complaining party and the party complained against shall agree on and appoint the third arbitrator within forty-five (45) days after the date of receipt of the request for the establishment of an arbitral tribunal, taking into account the candidates proposed pursuant to paragraph 2. If either the complaining party or the party complained against has not appointed an arbitrator pursuant to paragraph 2, or if the parties to the dispute fail to agree on and appoint the third arbitrator pursuant to this paragraph, the Director-General of the World Trade Organization shall immediately be requested to make the necessary appointments. In the event that the Director-General is a national of any party to the dispute, the Deputy Director-General or the officer next in seniority who is not a national of any party to the dispute shall be requested to make the necessary appointments. Appointments made pursuant to this paragraph other than that of the third arbitrator shall be deemed to have been made by the complaining party or the party complained against which has failed to make such an appointment.

4. The date of establishment of an arbitral tribunal shall be the date on which the third arbitrator is appointed pursuant to paragraph 3.

5. If an arbitrator appointed under this Article resigns or becomes unable to act, a succeeding arbitrator shall be appointed in the same manner as prescribed for the appointment of the original arbitrator and the succeeding arbitrator shall have all the powers and duties of the original arbitrator. The work of the arbitral tribunal shall be suspended until the succeeding arbitrator is appointed.

6. Any person appointed as an arbitrator shall have expertise or experience in law, international trade, other matters covered by this Agreement or the resolution of disputes arising under international trade agreements. An arbitrator shall be chosen strictly on the basis of objectivity, reliability, sound judgment and independence and shall conduct himself or herself on the same basis throughout the course of the arbitral proceedings. If a party to the dispute believes that an arbitrator is not adhering to the basis stated above, the parties to the dispute shall consult and if they agree, the arbitrator shall be removed and a new arbitrator shall be appointed in accordance with this Article.

1 仲裁裁判所に付託された紛争について実質的な利害関係を有し、かつ、その旨を書面により紛争当事国及び紛争当事国以外の全締約国に通報した締約国は、仲裁裁判所に対し意見書を提出する機会を有する。意見書は、紛争当事国にも送付されるものとし、及び仲裁裁判所の裁定に反映するに及ぶ。

2 第三国は、仲裁裁判所の第一回会合に対する紛争当事国の意見書の送付を受ける。

3 第三国は、既に仲裁裁判手続の対象となっている措置がこの協定に基づき自国に与えられた利益を無効にし、又は侵害すると認める場合には、この章の規定に基づく通常の紛争解決手続を利用するに及ぶ。

第六十七条 仲裁裁判所の任務

1 第六十四条の規定により設置される仲裁裁判所は、

- (a) 自己に付託された問題の客観的な評価（問題の事実関係、この協定の適用の可能性及びこの協定との適合性に関する検討を含む。）を行うべきである。
- (b) 必要に応じて紛争当事国と協議すべきであり、また、紛争当事国が相互に満足すべき解決を図るための十分な機会を与えるべきである。
- (c) この協定及び適用可能な国際法の規則に従って裁定を下す。
- (d) 裁定においては、その理由を付し、並びに法及び事実に関する認定を行う。
- (e) (d)の認定とは別に、第七十一条の規定との関連において、その実施方法についての提案を裁定に含め、これを紛争当事国による考慮に付するに及ぶ。

Article 66
Third Parties

1. Any Party having a substantial interest in a dispute before an arbitral tribunal and having notified its interest in writing to the parties to the dispute and the rest of the Parties shall have an opportunity to make written submissions to the arbitral tribunal. These submissions shall also be given to the parties to the dispute and may be reflected in the award of the arbitral tribunal.

2. A third party shall receive the submissions of the parties to the dispute to the first meeting of the arbitral tribunal.

3. If a third party considers that a measure that is already the subject of any arbitral tribunal proceedings nullifies or impairs benefits accruing to it under this Agreement, such third party may have recourse to normal dispute settlement procedures under this Chapter.

Article 67
Functions of Arbitral Tribunals

1. The arbitral tribunal established pursuant to Article 64:

- (a) should make an objective assessment of the matter before it, including an examination of the facts of the case and the applicability of and conformity with the Agreement;
- (b) should consult with the parties to the dispute as appropriate and provide them with adequate opportunities for the development of a mutually satisfactory resolution;
- (c) shall make its award in accordance with this Agreement and applicable rules of international law;
- (d) shall set out, in its award, its findings of law and fact, together with the reasons therefor;
- (e) may, apart from giving its findings, include in its award suggested implementation options for the parties to the dispute to consider in conjunction with Article 71; and

- (f) 裁定において、この協定に定める締約国の権利及び義務に新たな権利及び義務を追加し、又はこの協定に定める権利及び義務を減ずることはできない。
- 2 仲裁裁判所は、必要かつ適当と認める関係情報の提供を全締約国に要請することができる。仲裁裁判所が情報の提供を要請する場合には、全締約国は、迅速かつ十分にこれに応ずるものとする。
- 3 仲裁裁判所は、いかなる関係者に対しても情報の提供を要請することができるものとし、また、問題の一定の側面についての意見を得るために専門家と協議することができる。仲裁裁判所は、いずれかの紛争当事国が提起した科学上又は技術上の事項に関する事実に係る問題については、専門家に対し意見書の提出を要請することができる。仲裁裁判所は、いずれかの紛争当事国の要請により、又は自己の発意により、仲裁裁判手続を通じて仲裁裁判所を補佐する二人以上の科学又は技術の分野における専門家を、紛争当事国と協議の上選定することができる。ただし、当該専門家は、裁定その他の仲裁裁判所によるいかなる決定に際しても投票権を有しない。入手された情報及び技術上の助言については、紛争当事国による利用を可能としなければならない。

第六十八条 仲裁裁判手続

仲裁裁判
手続

- 1 この条に規定する規則及び手続は、仲裁裁判手続について適用する。
- 2 紛争当事国は、仲裁裁判所と協議の上、この条の規定と反しない追加的な規則及び手続を採択する（以下「つき合意することができる」。
- 仲裁裁判所の付託事項
- 3 仲裁裁判所は、次の付託事項を有する。
- 「（紛争当事国が引用するこの協定の関連規定）に照らし、第六十四条の規定による仲裁裁判所の設置の要請に言及された問題を検討し、及び第六十七条の規定に従い裁定（認定、決定及び実施方法についての提案がある場合には当該提案を含む。）を下すこと。」

意見書その他の文書

- (f) cannot, in its award, add to or diminish the rights and obligations of any Party provided in this Agreement.

2. The arbitral tribunal may seek, from the Parties, such relevant information as it considers necessary and appropriate. The Parties shall respond promptly and fully to any request by the arbitral tribunal for such information.

3. The arbitral tribunal may seek information from any relevant source and may consult experts to obtain their opinion on certain aspects of the matter. With respect to factual issues concerning a scientific or other technical matter raised by any party to the dispute, the arbitral tribunal may request advisory reports in writing from experts. The arbitral tribunal may, at the request of any party to the dispute or on its own initiative, select, in consultation with the parties to the dispute, no fewer than two (2) scientific or technical experts who shall assist the arbitral tribunal throughout its proceedings, but who shall not have the right to vote in respect of any decision to be made by the arbitral tribunal, including its award. Any information and technical advice so obtained shall be made available to the parties to the dispute.

Article 68

Proceedings of Arbitral Tribunals

1. The rules and procedures as set out in this Article shall apply to the proceedings of an arbitral tribunal.
2. The parties to the dispute, in consultation with the arbitral tribunal, may agree to adopt additional rules and procedures not inconsistent with the provisions of this Article.

Terms of Reference for Arbitral Tribunals

3. An arbitral tribunal shall have the following terms of reference:

"to examine, in the light of (the relevant provisions in this Agreement to be cited by the parties to the dispute), the matter referred to in the request for the establishment of an arbitral tribunal pursuant to Article 64, and to issue awards including findings, determinations and suggested implementation options, if any, as provided for in Article 67."

Written Submissions and Other Documents

4 各紛争当事国は、仲裁裁判所に提出した意見書の写しを他の紛争当事国に送付する。

5 仲裁裁判手続に係る要請、通報その他の文書であつて、4に規定するものの以外のもについては、各紛争当事国は、その写しを他の紛争当事国に送付することができる。この場合には、ファクシミリ、電子メールその他の電子送信の手段によることができる。

6 紛争当事国は、仲裁裁判手続に係る要請、通報、意見書その他の文書の記載上の軽微な誤りを、変更を明示した新しい文書を送付することにより、いつでも訂正することができる。

日程

7 仲裁裁判所は、紛争当事国と協議の上、実行可能な限り速やかに、可能な場合には仲裁裁判所の設置の後七日以内に、仲裁裁判所の検討の日程を定める。仲裁裁判所のために定められる日程は、紛争当事国による意見書の提出について明確な期限を含むものとする。日程の修正は、仲裁裁判所と協議の上、紛争当事国間の合意により行うことができる。

仲裁裁判所の運用

8 仲裁裁判は、非公開とする。紛争当事国は、仲裁裁判所により出席するよう招請された場合に限り、その会合に出席する。

9 紛争について利害関係を有することを通報したすべての第三国は、仲裁裁判所の第一回会合中に特別に開催される会議において自国の立場を表明するよう、書面により招請される。すべての第三国は、当該特別に開催される会議の全期間出席することができる。

10 仲裁裁判所の評議及び仲裁裁判所に提出された文書は、秘密のものとして取り扱う。

11 10の規定にかかわらず、いずれの紛争当事国も、紛争に関する自己の立場及び見解について公に表明することができる。ただし、他の紛争当事国が秘密であると指定して仲裁裁判所に提出した情報又は意見書については、これを秘密のものとして取り扱う。紛争当事国は、秘密の意見書を仲裁裁判所に提出した場

日ASEAN包括的経済連携協定

4. Each party to the dispute shall deliver to the other parties to the dispute a copy of its written submissions to the arbitral tribunal.

5. In respect of any request, notice or other documents related to the arbitral tribunal proceedings that is not covered by paragraph 4, each party to the dispute may deliver a copy of the documents to the other parties to the dispute by facsimile, e-mail or other means of electronic transmission.

6. Any party to the dispute may at any time correct minor errors of a clerical nature in any request, notice, written submission or other documents related to the arbitral tribunal proceedings by delivering a new document clearly indicating the changes.

Timetable

7. After consulting the parties to the dispute, the arbitral tribunal shall as soon as practicable and whenever possible within seven (7) days after the establishment of the arbitral tribunal, fix the timetable for the arbitral tribunal process. The timetable fixed for the arbitral tribunal shall include precise deadlines for written submissions by the parties to the dispute. Modifications to such timetable may be made by the agreement of the parties to the dispute in consultation with the arbitral tribunal.

Operation of Arbitral Tribunals

8. An arbitral tribunal shall meet in closed session. The parties to the dispute shall be present at the meetings only when invited by the arbitral tribunal to appear before it.

9. All third parties which have notified their interest in the dispute shall be invited in writing to present their views during a session of the first meeting of the arbitral tribunal proceedings set aside for that purpose. All such third parties may be present during the entirety of this session.

10. The deliberations of the arbitral tribunal and the documents submitted to it shall be kept confidential.

11. Notwithstanding paragraph 10, any party to the dispute may make public statements of its positions and its views regarding the dispute, but shall treat as confidential, information and written submissions made by the other parties to the dispute to the arbitral tribunal which the

合には、他の紛争当事国の要請に基づき、その情報又は意見書について公開し得る秘密でない要約を提出する。

12 仲裁裁判手続の場所は、申立国と被申立国との間の合意により決定されるものとする。そのような合意がない場合には、仲裁裁判手続の第一回会合は被申立国の首都のいずれかにおいて行い、その後は紛争当事国の首都において交互に行うものとする。

13 紛争当事国は、仲裁裁判手続における表明、陳述又は反論の場に出席する機会を与えられる。紛争当事国が仲裁裁判所に提出した情報又は意見書（裁定案の説明部分に関する意見及び仲裁裁判所の質問に対する回答を含む。）については、他の紛争当事国による利用を可能としなければならない。

第六十九条 裁定案及び裁定

1 仲裁裁判所の裁定の起草は、紛争当事国の参加なしに、かつ、仲裁裁判手続において提供された情報及び行われた陳述を踏まえて行うものとする。仲裁裁判所の裁定の中で各仲裁人が表明した意見は、匿名とする。

2 仲裁裁判所は、紛争当事国が裁定案（説明部分並びに仲裁裁判所の認定及び結論から成る。）の特定の部分を検討することができるようにするため、その設置の日の後九十日以内に、紛争当事国に対し裁定案を提示する。

3 仲裁裁判所は、2に規定する九十日の期間内に裁定案を提示することができないと認める場合には、裁定案を提示するまでに要する期間の見込みと共に遅延の理由を書面により紛争当事国に通報する。

4 紛争当事国は、裁定案が提示された日の後十五日以内に、仲裁裁判所に対し当該裁定案についての意見を書面により提出することができる。

other parties to the dispute have designated as confidential. Where a party to the dispute submits a confidential version of its written submissions to the arbitral tribunal, it shall also, upon request of another party to the dispute, provide a non-confidential summary of the information or written submissions which may be disclosed publicly.

12. The venue for the arbitral tribunal proceedings shall be decided by mutual agreement between the complaining party and the party complained against. If there is no agreement, the venue shall alternate among the capitals of the parties to the dispute with the first meeting of the arbitral tribunal proceedings to be held in one (1) of the capitals of the party complained against.

13. The parties to the dispute shall be given the opportunity to attend any of the presentations, statements or rebuttals in the proceedings. Any information provided and written submissions made to the arbitral tribunal by a party to the dispute, including any comments on the descriptive part of the draft award and responses to questions put by the arbitral tribunal, shall be made available to the other parties to the dispute.

Article 69
Draft Award and Award

1. The award of the arbitral tribunal shall be drafted without the presence of the parties to the dispute and in the light of the information provided and the statements made in the proceedings. Opinions expressed in the award of the arbitral tribunal by its individual arbitrator shall be anonymous.

2. The arbitral tribunal shall, within ninety (90) days after the date of its establishment, issue to the parties to the dispute its draft award including both the descriptive part and its findings and conclusions for the purposes of enabling the parties to the dispute to review precise aspects of the draft award.

3. When the arbitral tribunal considers that it cannot issue its draft award within the ninety (90) day period referred to in paragraph 2, it shall inform the parties to the dispute in writing of the reasons for the delay together with the estimate of the period within which it will issue its draft award.

4. The parties to the dispute may submit comments in writing to the arbitral tribunal on the draft award within fifteen (15) days after the date of issuance of the draft

5 仲裁裁判所は、4に規定する紛争当事国の書面による意見を受領した場合には、自己の発意により、又は紛争当事国の要請により、自己の裁定を見直し、及び適当と認める更なる検討を行うことができる。

6 仲裁裁判所は、裁定案が提示された日の後三十日以内に、紛争当事国に対し裁定を下す。

7 仲裁裁判所は、裁定その他の決定をコンセンサス方式によって行う。コンセンサスに達することができない場合には、過半数による議決でこれを行うことができる。

8 仲裁裁判所の裁定は、最終的なものであり、かつ、紛争当事国を拘束する。

9 仲裁裁判所の裁定は、裁定が紛争当事国に下された日の後十日以内に、全締約国に送付される。

第七十条 仲裁裁判手続の停止及び終了

1 仲裁裁判所は、紛争当事国が合意する場合にはいつでも、紛争当事国がその合意を仲裁裁判所の裁判長に対し共同で通報する日から十二箇月を超えない期間その検討を停止することができる。仲裁裁判手続は、停止の後、いずれかの紛争当事国の要請により再開することができる。仲裁裁判所の検討が十二箇月を超えて停止された場合には、当該仲裁裁判所は、紛争当事国が別段の合意をする場合を除くほか、その設置の根拠を失う。

2 紛争当事国は、裁定が下される前であればいつでも、裁判長に対し共同で通報することにより、仲裁裁判手続の終了について合意することができる。

3 仲裁裁判所は、裁定案が提示される前の仲裁裁判手続のいかなる段階においても、紛争当事国に対し友好的に紛争を解決するよう提案することができる。

award.

5. Where written comments by the parties to the dispute as provided for in paragraph 4 are received, the arbitral tribunal, on its own initiative or at the request of a party to the dispute, may reconsider its award and make any further examination that it considers appropriate.

6. The arbitral tribunal shall issue its award to the parties to the dispute within thirty (30) days after the issuance of the draft award.

7. The arbitral tribunal shall make its decisions, including its award, by consensus, failing which it may make its decisions by majority vote.

8. The award of the arbitral tribunal shall be final and binding on the parties to the dispute.

9. The award of the arbitral tribunal shall be circulated to the parties within ten (10) days after its issuance to the parties to the dispute.

Article 70 Suspension and Termination of Proceedings

1. Where the parties to the dispute agree, the arbitral tribunal may suspend its work at any time for a period not exceeding twelve (12) months from the date of the joint notification of such agreement to the chair of the arbitral tribunal by the parties to the dispute. Upon the request of any party to the dispute, the arbitral tribunal proceedings shall be resumed after such suspension. If the work of the arbitral tribunal has been suspended for more than twelve (12) months, the authority of the arbitral tribunal shall lapse unless the parties to the dispute agree otherwise.

2. The parties to the dispute may agree to terminate the proceedings of an arbitral tribunal at any time before the issuance of the award by jointly so notifying the chair of the arbitral tribunal.

3. Before the arbitral tribunal issues its draft award, it may, at any stage of the proceedings, propose to the parties to the dispute that the dispute be settled amicably.

裁定の実施

第七十一条 裁定の実施

- 1 被申立国は、第六十九条の規定による仲裁裁判所の裁定を迅速に実施する。
- 2 被申立国は、裁定が下された日の後二十日以内に、当該裁定を実施するための期間を申立国に通報する。申立国は、通報された期間が受け入れられないと認める場合には、その問題を仲裁裁判所に付託することができ、仲裁裁判所は、当該裁定を実施するための適切な期間を決定する。仲裁裁判所は、その問題が付託された日の後三十日以内に紛争当事国に対し自己の決定を通報する。
- 3 被申立国は、2の規定により決定された期間内に裁定を実施することができないと認める場合には、相互に満足すべき代償を与えるため、当該期間の満了までに申立国と協議を開始する。当該期間の満了の日の後二十日以内に満足すべき代償について合意がされなかった場合には、申立国は、被申立国に対するこの協定に基づく譲許その他の義務の適用の停止の適切な程度を決定するよう仲裁裁判所に要請することができる。
- 4 申立国は、被申立国が2の規定により決定された期間内に裁定を実施していないと認める場合には、被申立国が裁定を実施していないことを確認し、及び被申立国に対するこの協定に基づく譲許その他の義務の適用の停止の適切な程度を決定するため、問題を仲裁裁判所に付託することができる。
- 5 この条の規定により設置される仲裁裁判所は、できる限り、裁定の対象となった問題を取り扱った仲裁裁判所の仲裁人により構成する。これが可能でない場合には、この条の規定により設置される仲裁裁判所の仲裁人は、第六十五条2及び3の規定に従って任命する。

Article 71
Implementation of Award

1. The party complained against shall promptly comply with the award of the arbitral tribunal issued pursuant to Article 69.
2. The party complained against shall, within twenty (20) days after the date of issuance of the award, notify the complaining party of the period of time in which to implement the award. If the complaining party considers the period of time notified to be unacceptable, it may refer the matter to an arbitral tribunal which then determines the reasonable implementation period. The arbitral tribunal shall inform the parties to the dispute of its determination within thirty (30) days after the date of the referral of the matter to it.
3. If the party complained against considers it impracticable to comply with the award within the implementation period as determined pursuant to paragraph 2, the party complained against shall, no later than the expiry of that implementation period, enter into consultations with the complaining party, with a view to developing mutually satisfactory compensation. If no satisfactory compensation has been agreed within twenty (20) days after the date of expiry of that implementation period, the complaining party may request an arbitral tribunal to determine the appropriate level of any suspension of the application to the party complained against of concessions or other obligations under this Agreement.
4. If the complaining party considers that the party complained against has failed to comply with the award within the implementation period as determined pursuant to paragraph 2, the complaining party may refer the matter to an arbitral tribunal to confirm the failure and to determine the appropriate level of any suspension of the application to the party complained against of concessions or other obligations under this Agreement.
5. The arbitral tribunal established under this Article shall, wherever possible, have as its arbitrators, the arbitrators of the original arbitral tribunal. If this is not possible, then the arbitrators of such arbitral tribunal shall be appointed pursuant to paragraphs 2 and 3 of Article 65.

6 紛争当事国が異なる期間について合意しない限り、3及び4の規定により設置される仲裁裁判所は、問題が付託された日の後六十日以内に裁定を下す。

7 この条の規定により設置される仲裁裁判所の裁定は、すべての紛争当事国を拘束する。

第七十二条 代償及び譲許の停止

1 代償及びこの協定に基づく譲許その他の義務の停止は、裁定が妥当な期間内に実施されない場合を利用することができ、一時的な手段であるが、これらのいずれの手段よりも当該裁定の対象となった措置をこの協定に適合させるために当該裁定を完全を実施することが優先される。代償が与えられる場合には、この協定に適合するものでなければならない。

2 この協定に基づく譲許その他の義務の適用は、前条3及び4に規定する手続の開始の前又はその期間中は停止してはならない。

3 前条3及び4に規定する譲許その他の義務の適用の停止は、被申立国に対するこの協定に基づく譲許その他の義務の適用を停止する意図を有する旨を申立国が被申立国及び被申立国以外の全締約国に通報した後に行うことができる。被申立国及び被申立国以外の全締約国は、停止の開始及びこの協定に基づいていかなる譲許その他の義務の適用が停止されるかについて通報を受けるものとする。

4 前条3及び4の規定によりこの協定に基づくいかなる譲許その他の義務を停止するかを検討するに当たり、その停止は、次のことを条件とする。

(a) 一時的なものであり、かつ、相互に満足すべき解決が紛争当事国間で得られ、又は裁定が実施されたときに解除されること。

(b) 裁定が実施されないことによる無効化又は侵害の程度と同等の程度に限定されること。

6. Unless the parties to the dispute agree to a different period, the arbitral tribunal established under paragraphs 3 and 4 shall issue its award within sixty (60) days after the date when the matter is referred to it.

7. The award of the arbitral tribunal established under this Article shall be binding on all the parties to the dispute.

Article 72 Compensation and the Suspension of Concessions

1. Compensation and the suspension of concessions or other obligations under this Agreement are temporary measures available in the event that the award is not implemented within a reasonable period of time. However, neither compensation nor the suspension of concessions or other obligations under this Agreement is preferred to full implementation of the award to bring a measure into conformity with this Agreement. Compensation, if granted, shall be consistent with this Agreement.

2. The application of concessions or other obligations under this Agreement shall not be suspended before the commencement and during the course of the proceedings under paragraphs 3 and 4 of Article 71.

3. The suspension of the application of concessions or other obligations under paragraphs 3 and 4 of Article 71 may only be implemented after the complaining party notifies the party complained against and the rest of the parties that the complaining party intends to suspend the application to the party complained against of concessions or other obligations under this Agreement. The party complained against and the rest of the parties shall be informed of the commencement of the suspension and which concessions or other obligations under this Agreement would be suspended.

4. In considering what concessions or other obligations under this Agreement to be suspended under paragraphs 3 and 4 of Article 71, such suspension shall:

(a) be temporary, and be discontinued when the parties to the dispute reach a mutually satisfactory resolution or where compliance with the award is effected;

(b) be restricted to the same level of nullification or impairment that is attributable to the failure to comply with the award; and

(c) 仲裁裁判所が無効化又は侵害を認定した分野と同一の分野に限定されること。もっとも、当該分野における譲許又は義務の適用を停止することができず、又は効果的でない場合には、申立国は、その他の分野におけるこの協定に基づく譲許又は利益を停止することができる。

5 申立国によるこの協定に基づく譲許その他の義務の停止が4の規定に抵触すると被申立国が認める場合には、問題は、仲裁裁判所に付託されるものとする。この条の規定により設置される仲裁裁判所については、前条5の規定を準用するものとする。

6 紛争当事国が異なる期間について合意しない限り、この条の規定により設置される仲裁裁判所は、問題が付託された日の後六十日以内に裁定を下す。当該裁定は、すべての紛争当事国を拘束する。

費用

第七十三条 費用

1 申立国及び被申立国は、自己が任命した仲裁人に係る費用並びに自己の経費及び訴訟費用をそれぞれ負担する。

2 紛争当事国が別段の合意をする場合を除くほか、裁判長に係る費用その他仲裁裁判手続に関連する経費は、紛争当事国が均等に負担する。

3 仲裁裁判所は、仲裁裁判手続に関連して発生するすべての一般経費（補助要員、指定された記録作成者及び他の雇用人への支払を含む。）について記録を保管し、及び最終的な決算書を提出する。

最終規定

第十章 最終規定

第七十四条 目次、見出し及び小見出し

目次、見出し及び小見出し

目次、見出し及び小見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであって、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

(c) be restricted to the same sector or sectors as those in which the arbitral tribunal has found the nullification or impairment, unless it is not practicable or effective to suspend the application of concessions or obligations in such sector or sectors, in which case, the complaining party may suspend concessions or benefits in other sectors under this Agreement.

5. If the party complained against considers that the suspension of concessions or other obligations under this Agreement by the complaining party is inconsistent with the provisions of paragraph 4, the matter shall be referred to an arbitral tribunal. For the purposes of the arbitral tribunal established under this Article, paragraph 5 of Article 71 shall apply, *mutatis mutandis*.

6. Unless the parties to the dispute agree to a different period, the arbitral tribunal established under this Article shall issue its award within sixty (60) days after the date when the matter is referred to it. Such award shall be binding on all the parties to the dispute.

Article 73
Expenses

1. The complaining party and the party complained against shall respectively bear the costs of the arbitrators which they appointed, and their own expenses and legal costs.

2. Unless the parties to the dispute otherwise agree, the costs of the chair of the arbitral tribunal and other expenses associated with the conduct of the proceedings of the arbitral tribunal shall be borne in equal parts by the parties to a dispute.

3. The arbitral tribunal shall keep a record and render a final account of all general expenses incurred in connection with the proceedings, including those paid to their assistants, designated note takers or other individuals that it retains.

Chapter 10
Final Provisions

Article 74
Table of Contents, Headings and Subheadings

The table of contents, headings and subheadings are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of this Agreement.

全締約国は、別段の合意をする場合を除くほか、この協定の実施及び運用についての一般的な見直しをこの協定が第七十九条１の規定に従って効力を生ずる暦年の後五年目の年に行うものとし、その後においては五年ごとに行う。

第七十六条 附属書及び注釈

この協定の附属書（付録を含む。）及びこの協定中の注釈は、この協定の不可分の一部を成す。

１ この協定は、全締約国の合意により改正することができる。

２ 各締約国政府は、改正の効力発生に必要なそれぞれの国内手続が完了した旨を書面により他の締約国政府に通告する。当該改正は、日本国政府及び少なくとも一のASEAN構成国である締約国の政府がその通告を行った日の属する月の後二番目の月の初日に、それらの通告のうち最後のものが行われた日までに自らの政府がそのような通告を行った締約国の間で、効力を生ずる。

３ ２の規定に従って日本国政府及び少なくとも一のASEAN構成国である締約国の政府が通告を行った日の後に、ASEAN構成国である締約国が２に規定する通告を行う場合には、１に規定する改正は、当該ASEAN構成国については、当該通告が行われた日の属する月の後二番目の月の初日に効力を生ずる。

４ ２及び３の規定にかかわらず、改正の効力発生に必要な２に規定するASEAN構成国の数は、全締約国の合意により増加することができる。

５ ２の規定にかかわらず、次に掲げるもののみについての改正は、外交上の公文を全締約国政府が交換することにより行うことができる。当該改正は、当該外交上の公文において指定される日に全締約国について効力を生ずる。

The Parties shall undertake a general review of the implementation and operation of this Agreement in the fifth calendar year following the calendar year in which this Agreement enters into force pursuant to paragraph 1 of Article 79, and every five (5) years thereafter, unless otherwise agreed by the Parties.

Article 76
Annexes and Notes

The Annexes including attachment and Notes to this Agreement shall form an integral part of this Agreement.

Article 77
Amendments

1. This Agreement may be amended by agreement among the Parties.

2. The Government of each Party shall notify the Governments of the other Parties in writing that its legal procedures necessary for entry into force of the amendment have been completed. Such amendment shall enter into force on the first day of the second month following the date by which such notifications have been made by the Governments of Japan and at least one (1) ASEAN Member State, which is a Party, in relation to those Parties whose Governments have made such notifications by that date.

3. Where an ASEAN Member State, which is a Party, makes the notification referred to in paragraph 2 after the date by which the notifications have been made by the Governments of Japan and at least one (1) ASEAN Member State, which is a Party, as referred to in paragraph 2, the amendment referred to in paragraph 1 shall enter into force in relation to that ASEAN Member State on the first day of the second month following the date on which it makes the notification.

4. Notwithstanding paragraphs 2 and 3, the number of ASEAN Member States referred to in paragraph 2 which is necessary for entry into force of the amendment may be increased by agreement among the Parties.

5. Notwithstanding paragraph 2, amendments relating only to:

日ASEAN包括的経済連携協定

(a) 附属書一（ただし、統一システムの改正に伴う改正であって、附属書一に従って他の締約国の原産品に適用される関税率の変更を伴わないものに限る。）

(b) 附属書二

(c) 附属書四の付録

(d) 附属書五

寄託者

第七十八条 寄託者

全ASEAN構成国については、この協定（その改正を含む。）は、ASEAN事務局長に寄託するものとし、同事務局長は、各ASEAN構成国に対しこの協定（その改正を含む。）の認証謄本を速やかに送付する。

第七十九条 効力発生

効力発生

1 各署名国政府は、この協定の効力発生に必要なそれぞれの国内手続が完了した旨を書面により他の署名国政府に通告する。この協定は、日本国政府及び少なくとも一のASEAN構成国の政府が通告を行った日の属する月の後二番目の月の初日に、それらの通告のうち最後のものが行われた日までに自らの政府がそのような通告を行った署名国の間で、効力を生ずる。

2 1の規定に従って日本国政府及び少なくとも一のASEAN構成国の政府が通告を行った日の後に、1に規定する通告を行うASEAN構成国については、この協定は、当該ASEAN構成国が当該通告を行った日の属する月の後二番目の月の初日に効力を生ずる。当該ASEAN構成国は、この協定に従って存在する条件（当該通告の時までに第七十七条の規定に従って発効した改正を含む。）により拘束される。また、附属書一の適用上、当該ASEAN構成国の関税の段階的な撤廃又は引下げは、この協定が1の規定に従って効力を生ずる日に開始するものとする。

(a) Annex 1 (provided that the amendments are made in accordance with the amendment of the Harmonized System, and include no change on tariff rates applied to the originating goods of the other Parties in accordance with Annex 1);

(b) Annex 2;

(c) Attachment to Annex 4; or

(d) Annex 5,

may be made by diplomatic notes exchanged among the Governments of the Parties. Such amendments shall enter into force in relation to all the Parties on the date specified in such diplomatic notes.

Article 78
Depositary

For the ASEAN Member States, this Agreement including its amendments shall be deposited with the Secretary-General of ASEAN, who shall promptly furnish a certified copy thereof, to each ASEAN Member State.

Article 79
Entry into Force

1. The Government of each signatory State shall notify the Governments of other signatory States in writing that its legal procedures necessary for entry into force of this Agreement have been completed. This Agreement shall enter into force on the first day of the second month following the date by which such notifications have been made by the Governments of Japan and at least one (1) ASEAN Member State, in relation to those signatory States that have made such notifications by that date.

2. In relation to an ASEAN Member State making the notification referred to in paragraph 1 after the date by which the notifications have been made by the Governments of Japan and at least one (1) ASEAN Member State as referred to in paragraph 1, this Agreement shall enter into force on the first day of the second month following the date on which that ASEAN Member State makes the notification. That ASEAN Member State shall be bound by the existing terms and conditions of this Agreement, including any amendments that may have entered into force pursuant to Article 77 by the time of such notification. For the purposes of Annex 1, the staging of tariff elimination or reduction of that ASEAN Member State shall

第八十条 脱退及び終了

- 1 いずれの締約国も、一年前に他の締約国に対して書面による通告を行うことにより、この協定から脱退することができる。
- 2 この協定は、日本国又は締約国である全ASEAN構成国が1の規定に基づいて脱退した場合に終了する。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの協定に署名した。

英語により本書二通を作成し、二千八年三月二十八日に東京で、二千八年四月三日にバンドルスリプガワ
ンで、二千八年四月七日にブノンペンで、二千八年三月三十一日にジャカルタで、二千八年四月四日にビ
ンチャンで、二千八年四月十四日にクアラルンプールで、二千八年四月十日にネービードーで、二千八年四
月二日にマニラで、二千八年三月二十六日にシンガポールで、二千八年四月十一日にバンコクで、及び二千
八年四月一日にハノイで署名した。

日本国政府のために

高村正彦

ブルネイ・ダルサラーム国政府のために

J・S・リム

also commence from the date of entry into force of this Agreement pursuant to paragraph 1.

Article 80
Withdrawal and Termination

1. Any Party may withdraw from this Agreement by giving one (1) year's advance notice in writing to the other Parties.
2. This Agreement shall terminate either when all ASEAN Member States which are Parties withdraw in accordance with paragraph 1 or when Japan does so.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorised by their respective Governments, have signed this Agreement.

DONE in duplicate in the English language and SIGNED at Tokyo on the twenty-eighth day of March in the year 2008, at Bandar Seri Begawan on the third day of April in the year 2008, at Phnom Penh on the seventh day of April in the year 2008, at Jakarta on the thirty-first day of March in the year 2008, at Vientiane on the fourth day of April in the year 2008, at Kuala Lumpur on the fourteenth day of April in the year 2008, at Nay Pyi Taw on the tenth day of April in the year 2008, at Manila on the second day of April in the year 2008, at Singapore on the twenty-sixth day of March in the year 2008, at Bangkok on the eleventh day of April in the year 2008, and at Hanoi on the first day of April in the year 2008.

For the Government of
Japan:

高村正彦

For the Government of
Brunei Darussalam:

J. S. Lim

日ASEAN包括的経済連携協定

カンボジア王国政府のために

ブラシッド

For the Government of
the Kingdom of Cambodia:
Prasidh

インドネシア共和国政府のために

マリ・エルカ・パンゲストウ

For the Government of
the Republic of Indonesia:
MARI ELKA PANGESTU

ラオス人民民主共和国政府のために

N・V

For the Government of
the Lao People's Democratic
Republic:

N. V.

マレーシア政府のために

ムヒディン

For the Government of
Malaysia:
MUHYIDDIN

ミャンマー連邦政府のために

ソー・タ

For the Government of
the Union of Myanmar:
Soe Tha

フィリピン共和国政府のために

ピーター・B・ファビラ

For the Government of
the Republic of
the Philippines:

PETER B. FAVILA

シンガポール共和国政府のために
リム・フン・キャン

タイ王国政府のために
ミンクワン・セーンスワン

ベトナム社会主義共和国政府のために
ヴー・ファイ・ホアン

For the Government of
the Republic of Singapore:
Lim Hng Kiang

For the Government of
the Kingdom of Thailand:
Mingkwan Sangsuwan

For the Government of
the Socialist Republic of
Viet Nam:

VU HUY HOANG